

3章 観光の実態と空き家活用の滞在型観光のニーズ

1. 全国の作業所・小中高校と海外訪日者の観光の実態

全国の作業所・小中高校と海外訪日者の観光の実態

作業所・福祉施設等では、毎年何回か旅行・合宿をし、「大阪」「都市部」「遊園地や温泉等」を訪れるところが多い。
 小中学校・高校では、修学旅行で「京都」「都市部」「名所旧跡」を訪れるところが多い。
 作業所および学校の中には、「まち中散策」をするために訪れるところも少なくない。

作業所・福祉施設等の旅行・合宿等で最も多い形態

【宿泊先】ホテル、【日数】1泊2日、【交通手段】貸切バス
 【同行人数】数十人規模または5名以下規模
 【宿泊選定ポイント】宿泊料金やバリアフリー度、【宿泊選定ツール】旅行会社

小中学校・高校の修学旅行等で最も多い形態

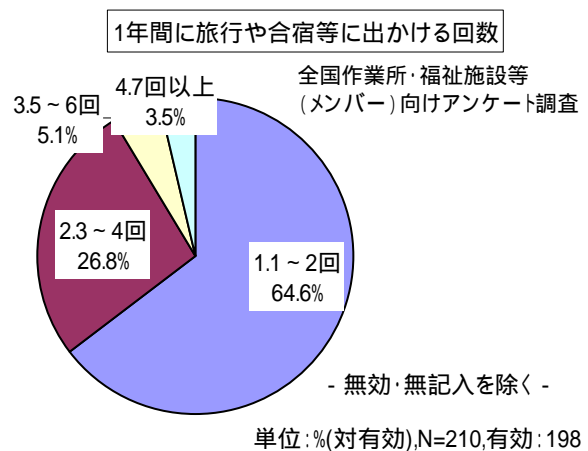
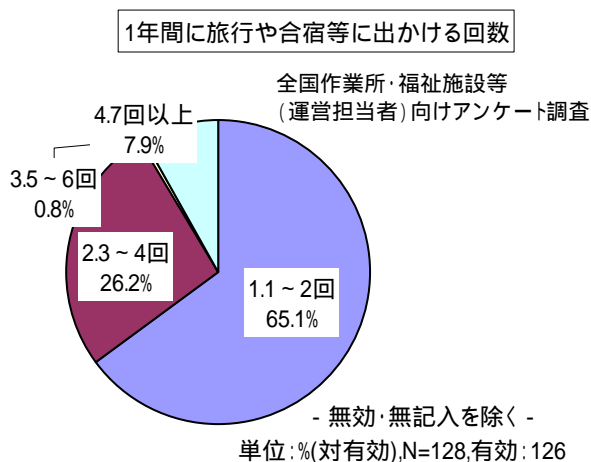
【宿泊先】ホテル、【日数】2泊3日、【交通手段】貸切バス、【同行人数】数十人規模
 【宿泊選定ポイント】宿泊料金や安全安心、【宿泊選定ツール】旅行会社

海外訪日者の宿泊選定ポイントは「宿泊料金」

(資料：(特活)市民活動情報センター)

(1) 1年間に旅行等に出かける回数

● 作業所・福祉施設等の1年間の旅行回数は1～2回が65%、3～4回が26%。

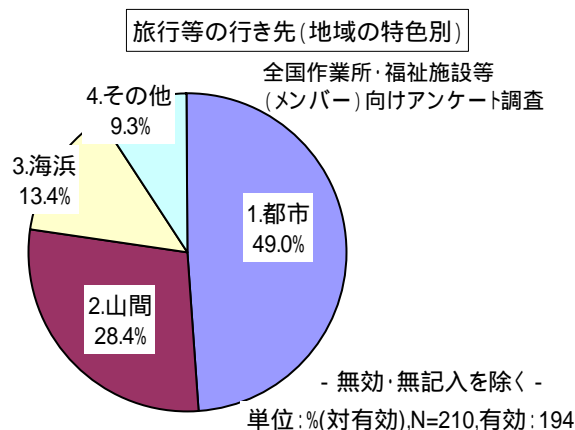
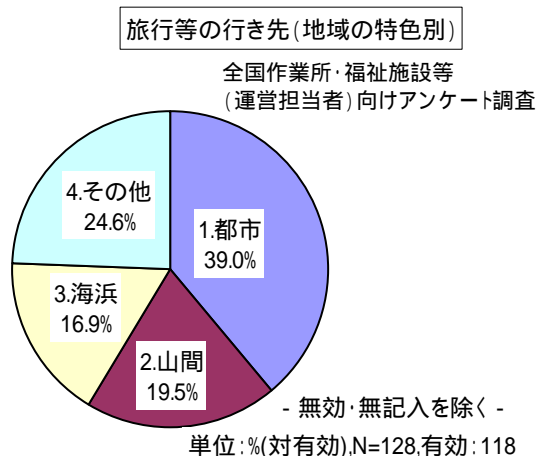


全国作業所・福祉施設等のメンバー向けの「その他」の回答として、「なし(ゼロ回)」、「殆どなし」、「ここ数年旅行には行っていません」など旅行にはいけない状態にあるとの回答も見られた。

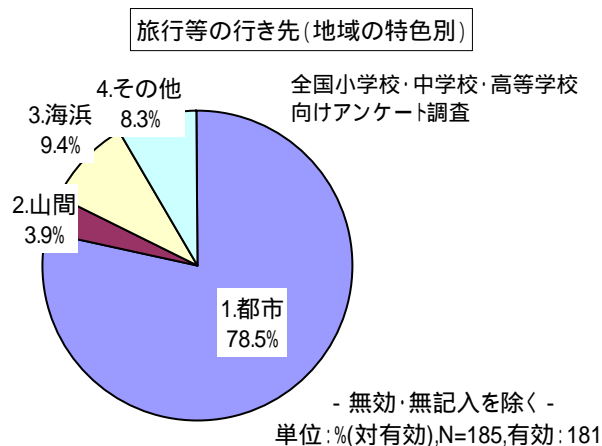
(2) 旅行等の行き先

旅行等の行き先(地域特色別)

- 旅行等の行き先では「都市部」が最も多く、作業所・福祉施設等の運営担当者が4割弱、同メンバーが5割弱、小中学校・高校が8割弱。

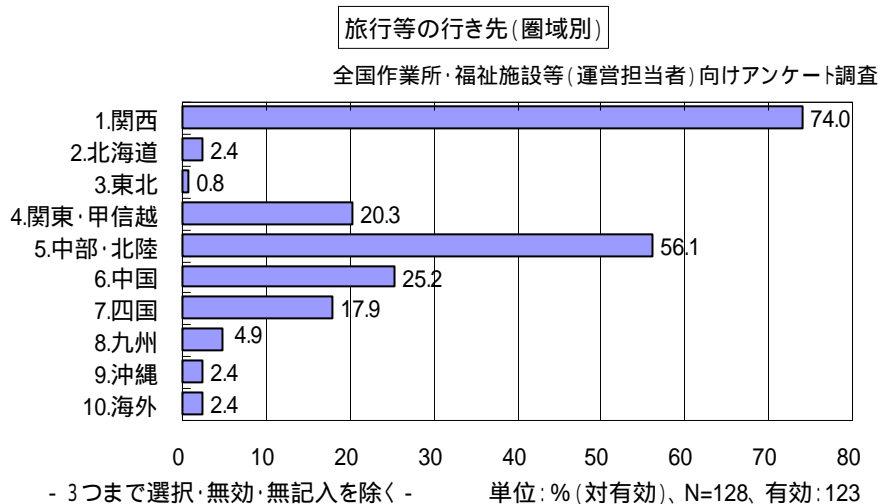


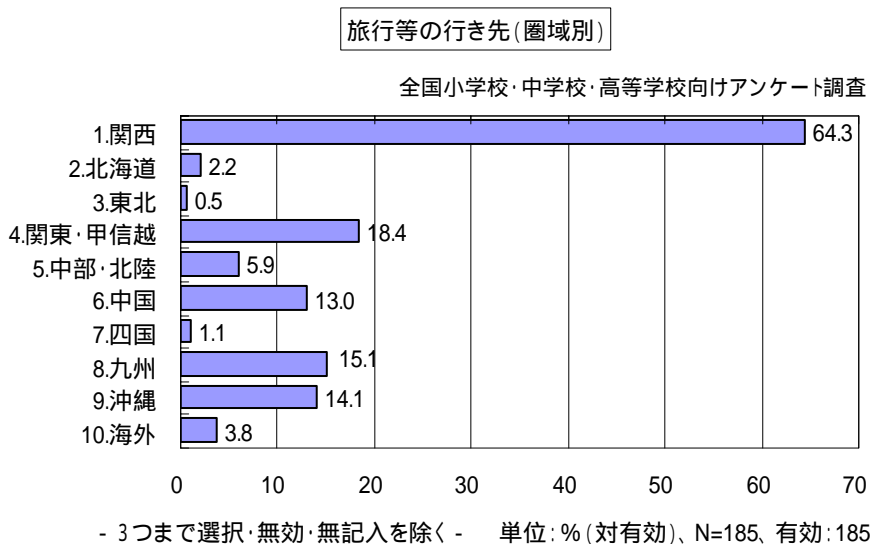
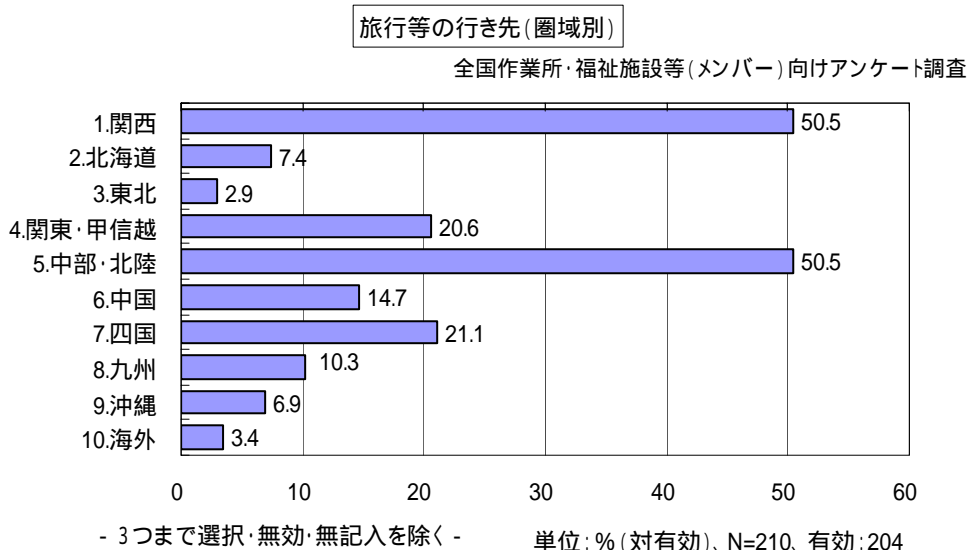
「その他」の回答は、全国作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)では「毎年変わっている」、「季節によって変わる」、「いろいろ」など、全国小中学校・高校では、「海外」、「学年によって異なる」などがあった。



旅行等の行き先(圏域別)

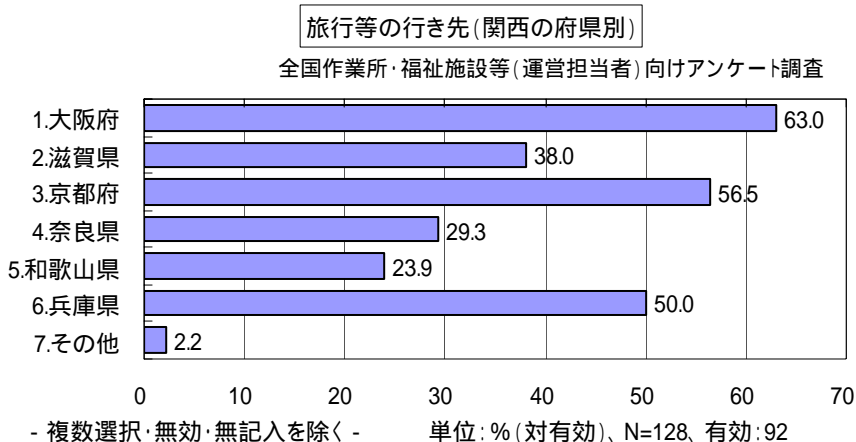
- 旅行等の行き先について、圏域別では、作業所・福祉施設等の個々のメンバーは「関西」が5割だが、運営担当者(団体)としては7割強に上る。
- 小中学校・高校の修学旅行等では、「関西」に行く学校が6割強。





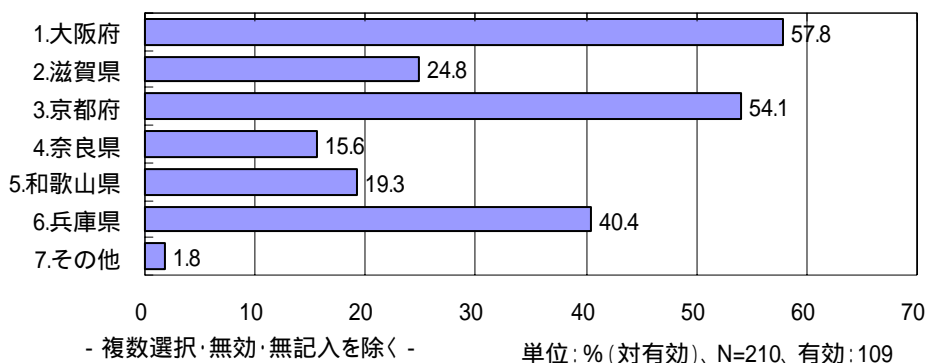
旅行等の行き先(関西の府県別)

● 関西への旅行等では、作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)と小中学校・高校とも6割前後が「大阪」に行っている。「京都」へはそれぞれ5割強と9割強。



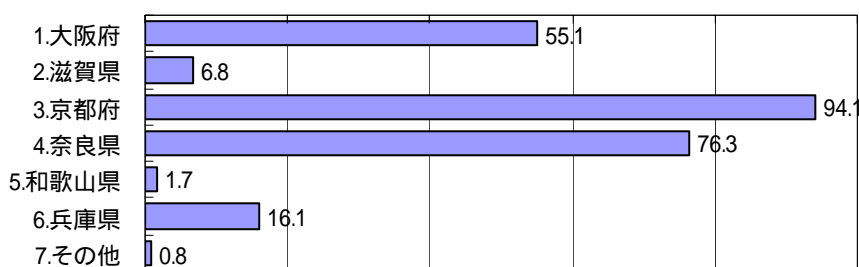
旅行等の行き先(関西の府県別)

全国作業所・福祉施設等(メンバー)向けアンケート調査



旅行等の行き先(関西の府県別)

全国小学校・中学校・高等学校向けアンケート調査



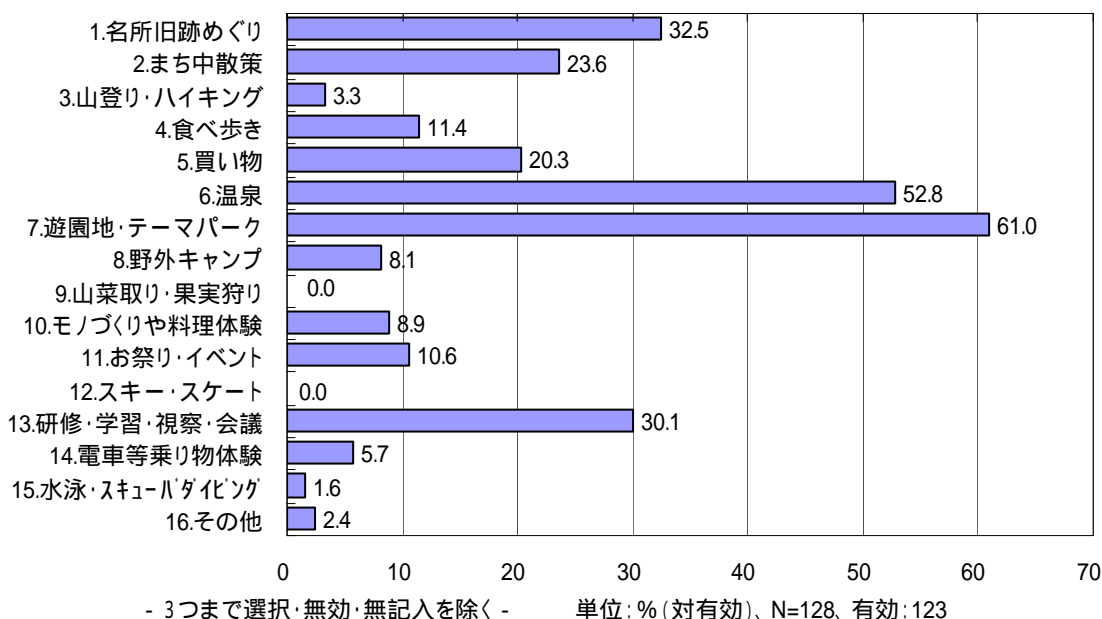
旅行等の内容

- 複数選択・無効・無記入を除く 単位: % (対有効)、N=185、有効:118

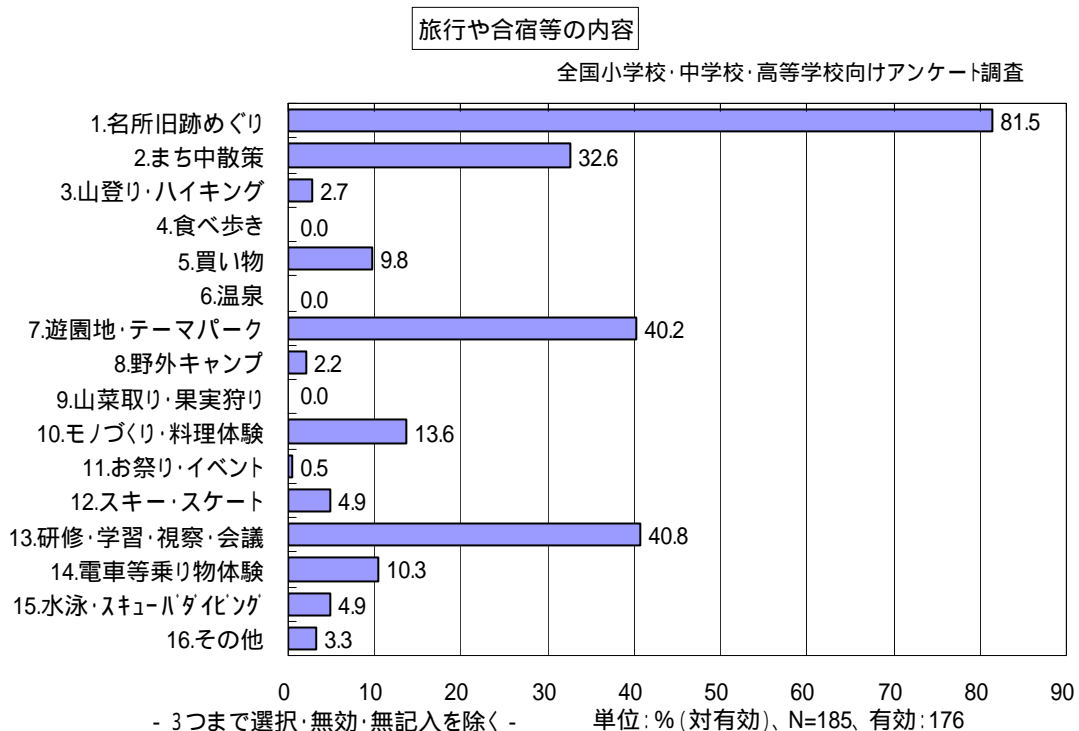
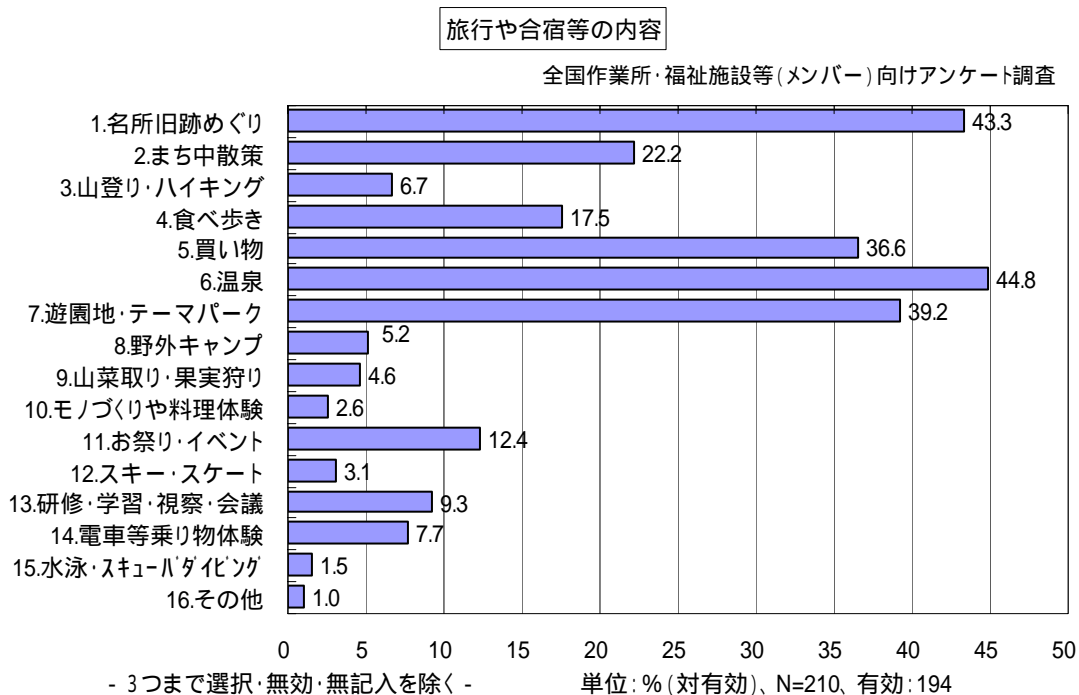
- 旅行等の内容について、作業所・福祉施設等の運営担当者(団体)は「遊園地・テーマパーク」が6割強、「温泉」が5割強で多く、個々のメンバーは「温泉」「遊園地・テーマパーク」以外に「名所旧跡めぐり」や「買い物」も4割前後と多い。
- 小中学校・高校では「名所旧跡めぐり」が8割強で際立って多い。
- 「まち中散策」も作業所・福祉施設等で2割強、小中学校・高校で3割強と少なくない。

旅行や合宿等の内容

全国作業所・福祉施設等(運営担当者)向けアンケート調査

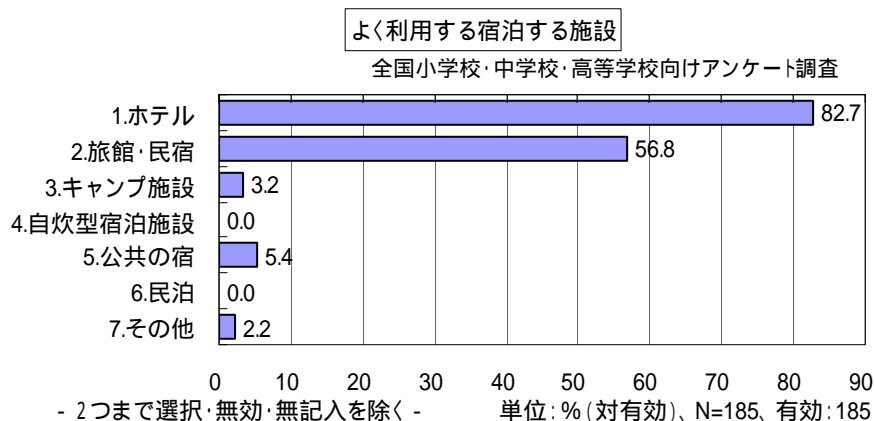
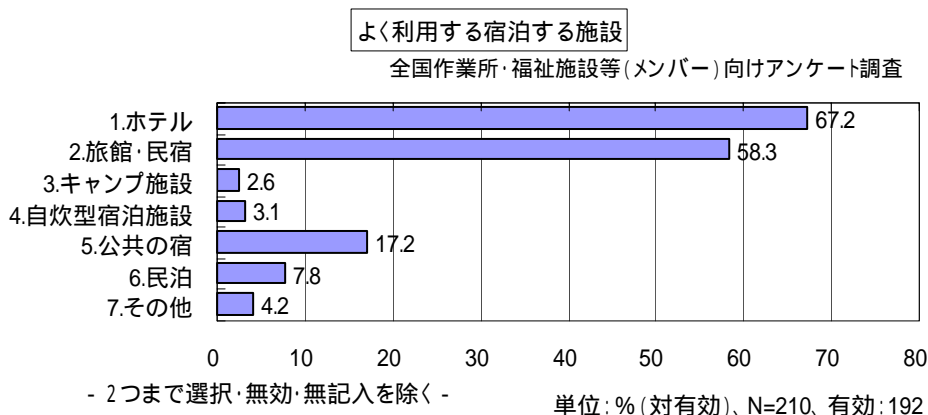
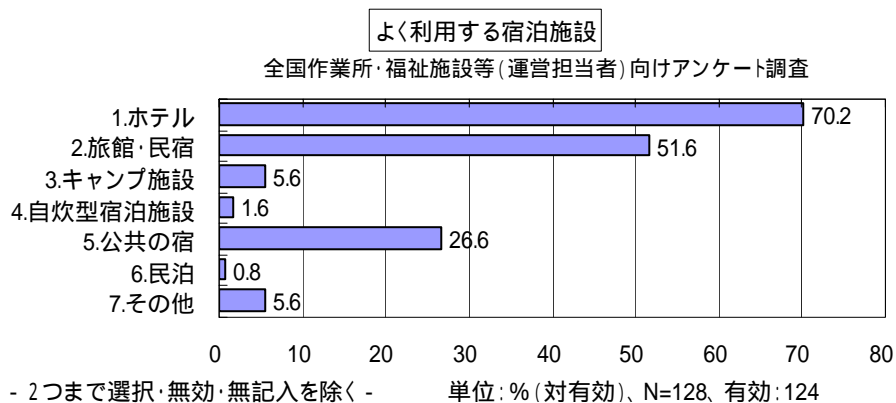


「その他」の回答として、全国作業所・福祉施設等の運営担当者では「初詣」、「花見」、「新緑」、「紅葉」、「工場見学」が、メンバーでは「ふるさとへの帰省」、「親戚の家」が見られた。全国小中学校・高校では、「オープンキャンパス」、「カヌー」、「ヨット体験」、「プロ野球」、「観劇」、「企業訪問」、「平和学習」、「ボランティア活動」などが見られた。



(3) よく利用する宿泊施設

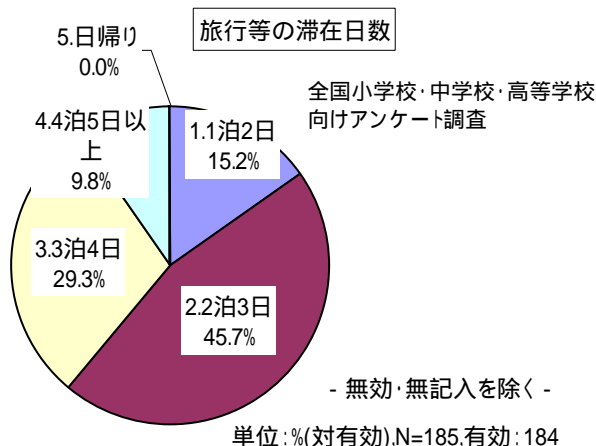
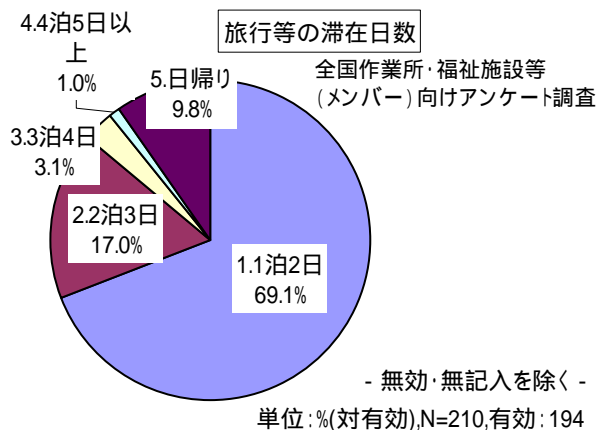
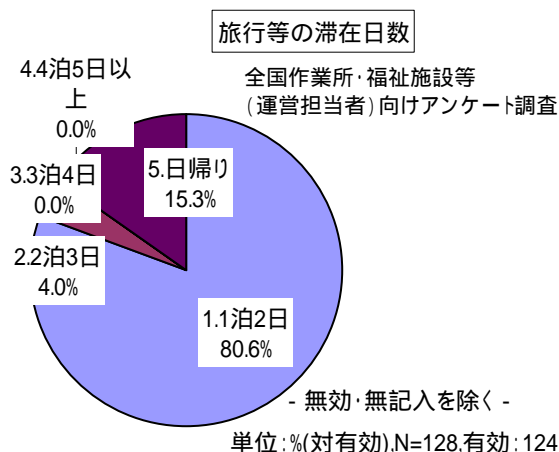
- よく利用する宿泊施設は、作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)ではホテルが7割、旅館が5～6割。公共の宿は個々のメンバーは17%だが、運営担当者(団体)は27%に上る。
- 小中学校・高校ではホテルが8割強、旅館が6割弱。公共の宿は5%と少ない。



「その他」の回答として、全国作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)では「ペンション」、「別荘」、「カプセルホテル」等のほかに、「日帰りのみ(泊まらない)」が多く見られた。全国小中学校・高校では、「船」、「宿坊」、「研修施設」、「少年自然の家、青少年の家」が見られた。

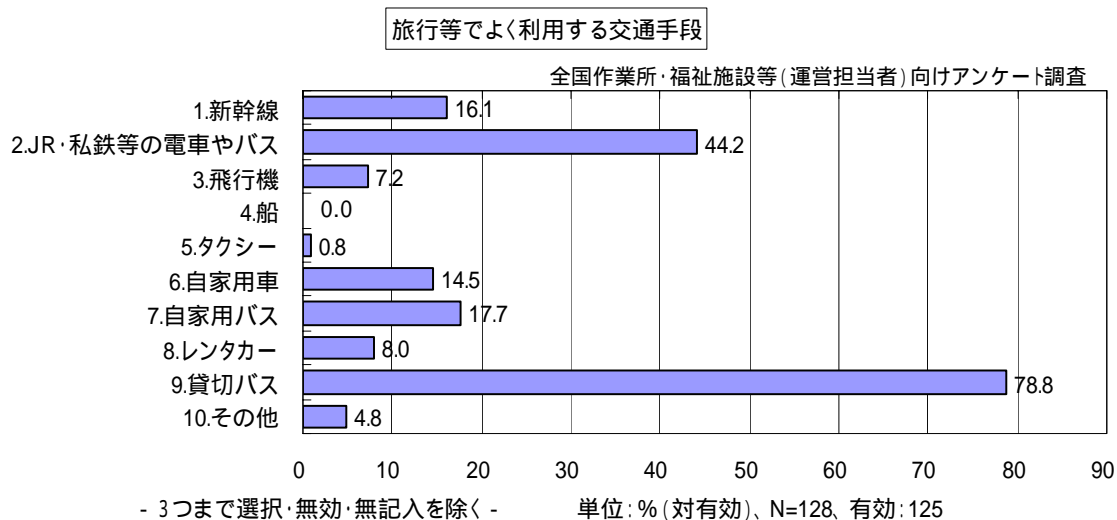
(4) 旅行等の滞在日数

- 旅行等の滞在日数は、作業所・福祉施設等の運営担当者(団体)は「1泊2日」が8割で、「2泊」以上は4%と少ないものの、個々のメンバーでは「1泊2日」が7割、「2泊」以上も2割ある。
- 小中学校・高校では、「2泊3日」が5割弱、「3泊」以上が4割あり、比較的長い日数をかけて修学旅行等をしている。

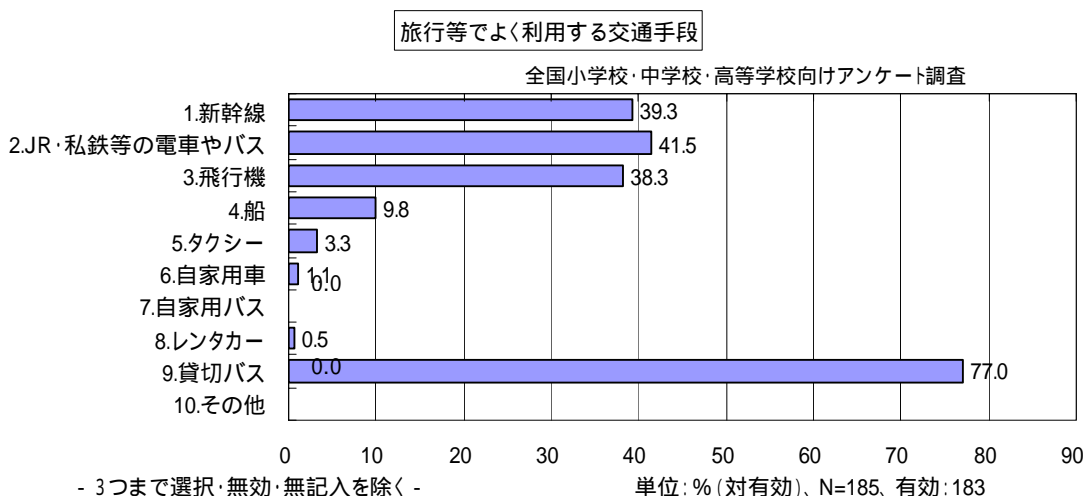
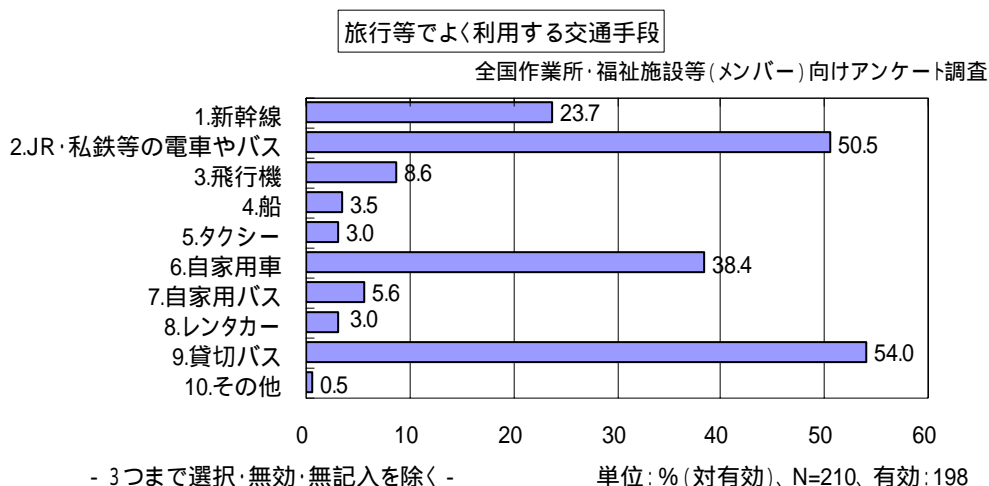


(5) 旅行等でよく利用する交通手段

- 旅行等でよく利用する交通手段としては、各調査とも「貸切バス」が最も多く、作業所・福祉施設等の運営担当者(団体)が8割弱、同メンバーが5割強、小中学校・高校が8割弱。次いで、「JR・私鉄等の電車やバス」が各調査とも4~5割ある。
- 小中学校・高校では、飛行機や新幹線の高速長距離移動手段の利用も4割程度ある。



「その他」の回答として、全国作業所・福祉施設等の運営担当者では「宿の送迎バス」、「送迎車」、「公用車」、「市の福祉バス」、「自転車」などが見られた。



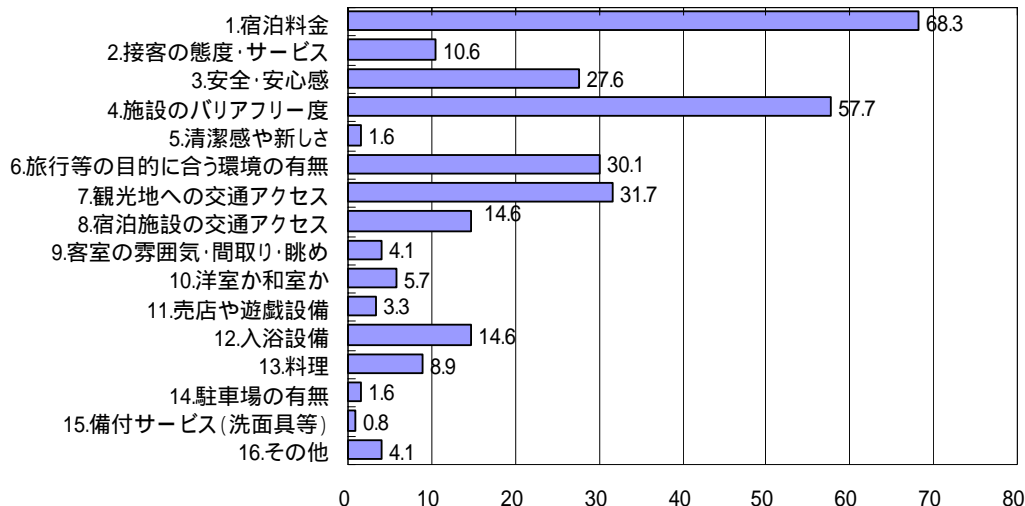
(6) 宿泊施設を決める際のポイント

- 宿泊施設を決める際に重視するポイントは、各調査とも「宿泊料金」が断トツに多く、作業所・福祉施設等の運営担当者は7割弱、同メンバーは6割強、小中学校・高校は7割強。
- 次いで、作業所・福祉施設等では「施設のバリアフリー度」が多く(運営担当者6割弱、メンバー3割)、小中学校・高校では「安全安心」が7割と際立って多い。
- 小中学校・高校では、「客室の雰囲気・間取り・眺め」「洋室か和室か」「入浴設備」「備付サービス」等の宿泊施設内部の設備的な面についての回答は総じて少ない。
- 海外訪日者では「宿泊料金」が7割強と際立って多く、「接客の態度・サービス」、「安全・安心感」、「観光地等への交通アクセス」、「清潔感や新しさ」は3割弱にとどまる。

「その他」の回答として、全国作業所・福祉施設等の運営担当者では「送迎車の有無」、「トイレの大きさや障害者トイレの有無」、「夕食がバイキングかどうか」、「業者まかせ」が見られた。全国小中学校・高校では、「全員が集合可能なスペースがあるか」などが見られた。

宿泊施設を決める際のポイント

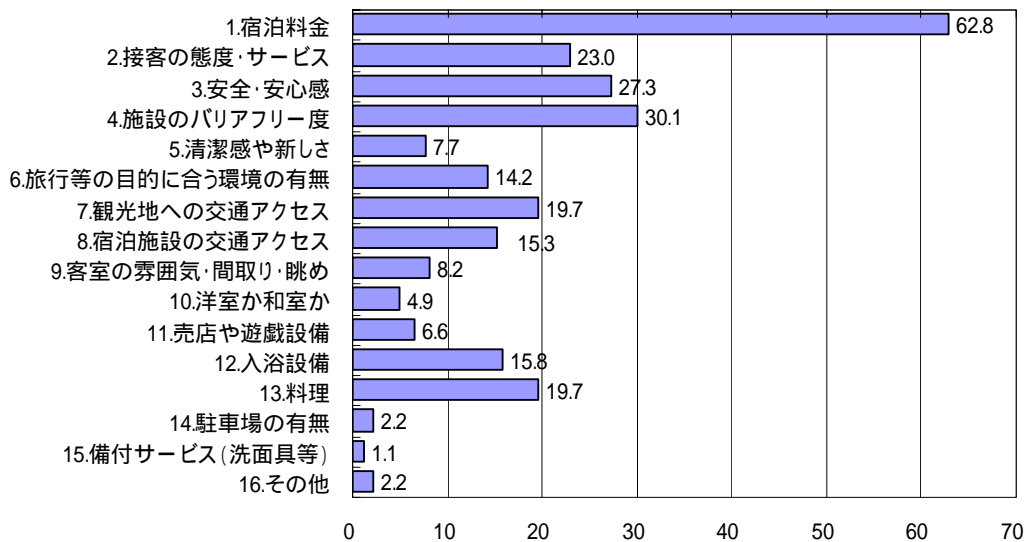
全国作業所・福祉施設等（運営担当者）向けアンケート調査



- 3つまで選択・無効・無記入を除く - 単位：% (対有効)、N=128、有効：123

宿泊施設を決める際のポイント

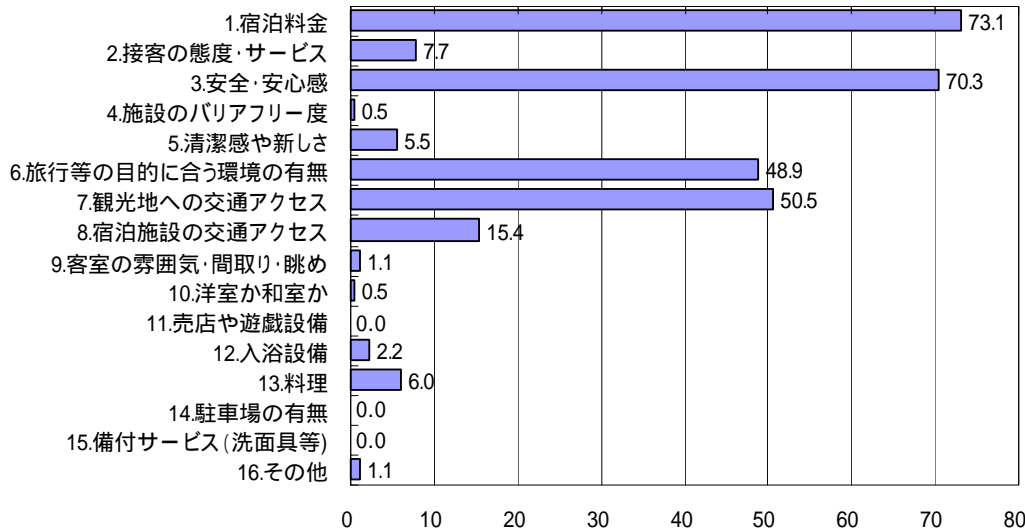
全国作業所・福祉施設等（メンバー）向けアンケート調査



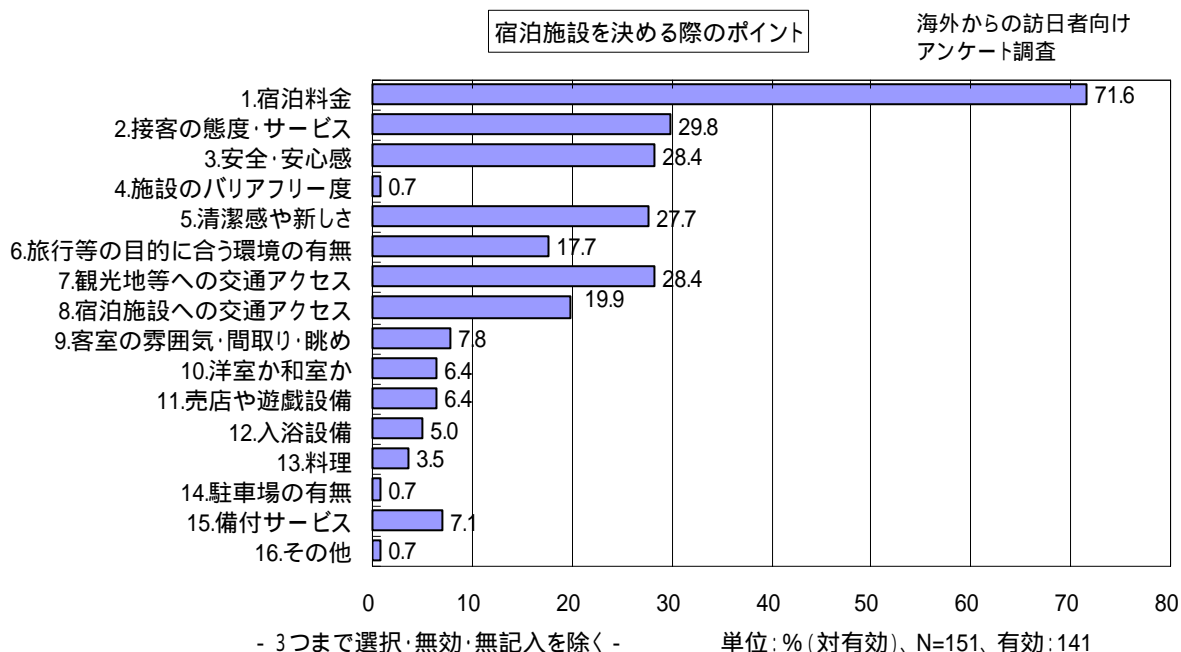
- 3つまで選択・無効・無記入を除く - 単位：% (対有効)、N=210、有効：183

宿泊施設を決める際のポイント

全国小学校・中学校・高等学校向けアンケート調査

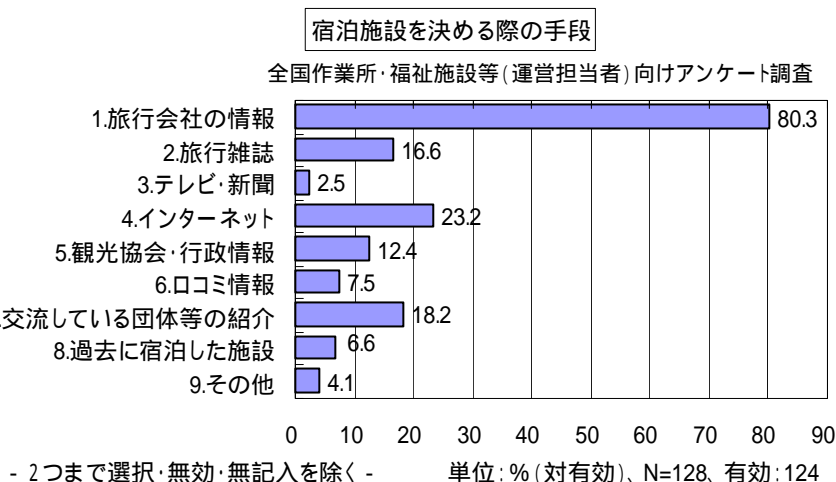


- 3つまで選択・無効・無記入を除く - 単位：% (対有効)、N=185、有効：182



(7) 宿泊施設を決める際の手段

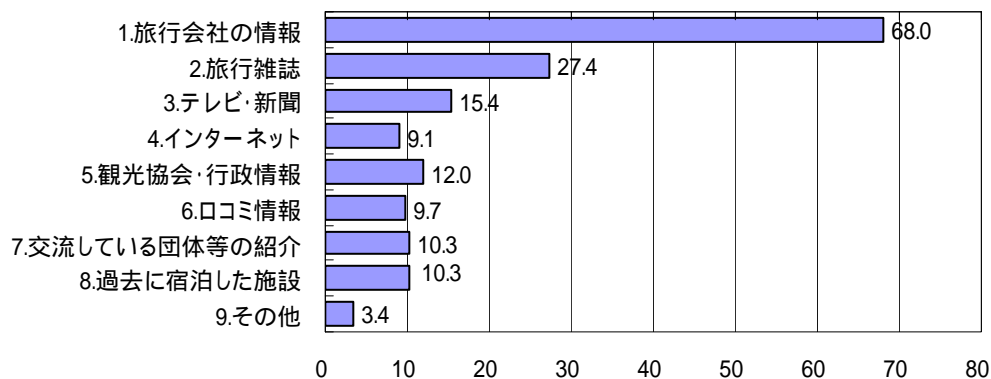
- 宿泊施設を決める際の手段としては、「旅行会社」が断トツに多く、各調査とも7～9割。
- 作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)では、「旅行雑誌」、「インターネット」、「交流連携している団体等の紹介」が2割程度あり、独自に情報収集をしていることが伺える。一方、小中学校・高校では、「過去に宿泊した施設と同じところ」が4割弱で継続性を重視していることが伺える。



「その他」の回答として、全国作業所・福祉施設等のメンバーでは「両親」、「ラジオ」などが見られた。全国小中学校・高校では、「長期にわたり同一旅館(特に問題がない限り変更しない)」などが見られた。

宿泊施設を決める際の手段

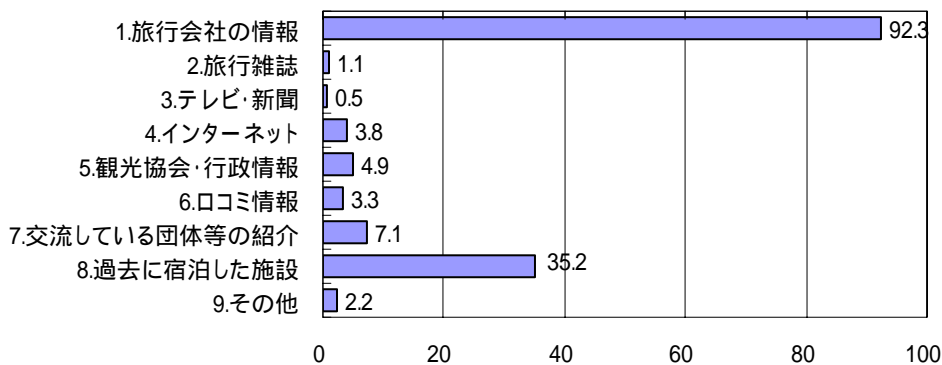
全国作業所・福祉施設等(メンバー)向けアンケート調査



- 2つまで選択・無効・無記入を除く - 単位: % (対有効)、N=210、有効: 175

宿泊施設を決める際の手段

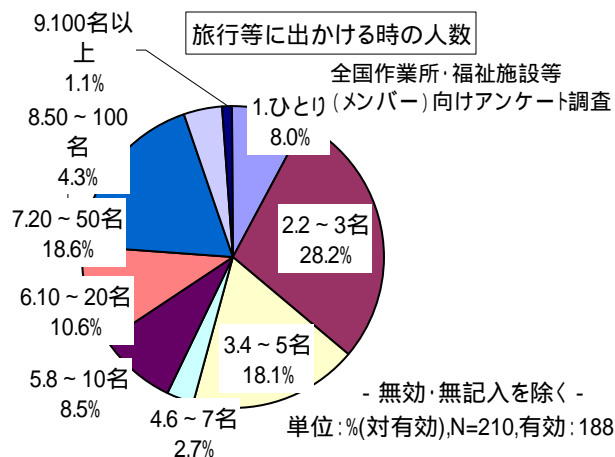
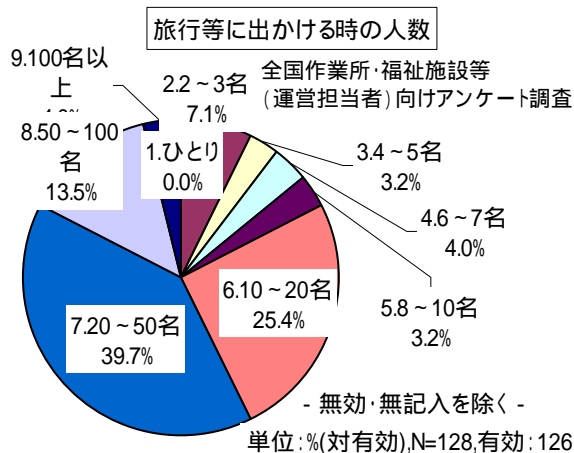
全国小学校・中学校・高等学校向けアンケート調査

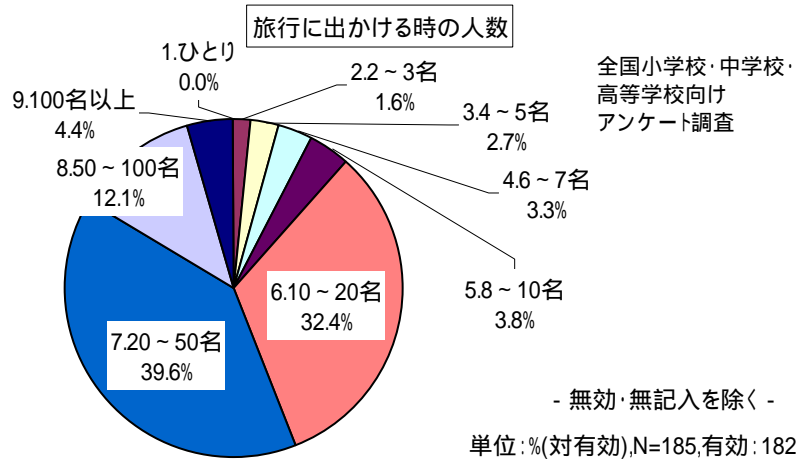


- 2つまで選択・無効・無記入を除く - 単位: % (対有効)、N=185、有効: 182

(8) 旅行等に出かける時の人数

- 旅行等に出かける時の人数について、作業所・福祉施設等の運営担当者(団体)と小中学校・高校は共に 20~50名の規模が4割弱、10~20名が3割前後、50~100名が1割強。
- このことから、空き家を活用した宿泊施設では、大きな施設であるか、あるいは複数の施設が協力して分散型の受け入れ態勢をつくる必要がある。
- 一方、作業所・福祉施設等の個々のメンバーでは、5名までの少人数旅行が5割以上であり、小規模な施設でも十分対応可能であるといえる。





2. 大阪における空き家活用の宿泊サービスの具体的ニーズ

まちの空き家を活用した「民家風宿泊施設」に関する具体的ニーズ

【立地場所】「生活文化が感じられる下町らしいところ」や「交通アクセスの便利なところ」を望む。 海外訪日者も同じ傾向

【宿泊サービス】担い手はまちの空き家を生かすには「他の宿泊施設と連携」した宿泊サービスが必要と考えるが、利用者は「同行者全員が一つの施設での宿泊」が理想。

【施設全体】担い手は「貸切でも貸切でなくてもいい」と考えるが、利用者は「同行者だけで借り切り」を望む。 海外訪日者も同じ傾向

【客室】担い手と利用者ともに「個室」を望む。 海外訪日者も同じ傾向

【食事】担い手は「別の客も一緒の場所」を望むが、利用者は「個室と共同の場所が半々」。 海外訪日者は「別の客との共同の場所」を望む。

【風呂】担い手は「どちらでもいい」と考えるが、利用者は「借り切り」を望む。 海外訪日者も同じ傾向

【施設の広さ】希望は4LDK程度が多い。

【料金・サービス】担い手は「料金を問わず、民家風宿泊施設らしいサービスを望む」が、利用者は「料金が安く、かつサービスも一般のホテル・旅館なみ」を望む。 海外訪日者も同じ傾向

【料理】担い手は「庶民的な家庭料理」を望むが、利用者側は「大阪の名物」を望む。 海外訪日者は「大阪の名物」と「庶民的な家庭料理」を望む。

野菜中心のメニュー希望(ベジタリアン)も多い。

【入浴施設・サービス】担い手は「施設風呂に加えて、まち中の銭湯にも」と考えるが、利用者は「宿泊施設内の風呂だけ」を望む。 海外訪日者は「宿泊施設内の風呂」と「大阪の天然温泉の施設」を望む。

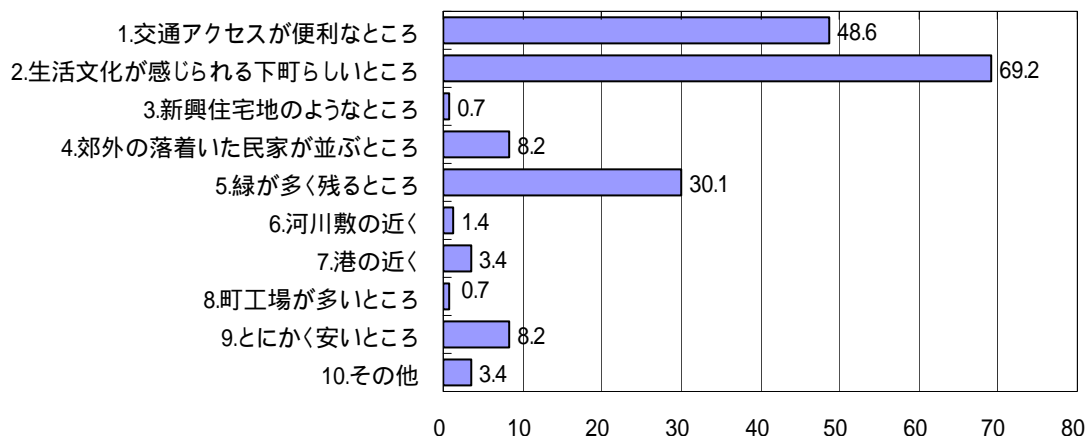
(資料: (特活)市民活動情報センター)

(1)「民家風宿泊施設」の立地場所

- 「民家風宿泊施設」事業で適当と考える場所について、担い手としてのNPO・障害者作業所等は、「下町らしいところ」が圧倒的に多く7割、「交通アクセスの便利なところ」が5割弱。
- 希望する民家風宿泊施設の場所について、観光客としての作業所・福祉施設等の運営担当者では「下町らしいところ」と「交通アクセスの便利なところ」がともに多く5割強。メンバーは「交通アクセスの便利なところ」が5割強だが、「下町らしいところ」は3割。
- 小中学校・高校では、「下町らしいところ」が8割と著しく多く、次いで「交通アクセスの便利なところ」が4割強。他はそれぞれ1割か数%と総じて少ない。
- 海外訪日者では、「交通アクセスの便利なところ」が6割弱、「生活文化が感じられる下町らしいところ」4割強が多い。

民家風宿泊施設事業で適当と思われる場所

大阪府内NPO法人・障害者作業所・福祉施設等向けアンケート調査



- 2つまで選択・無効・無記入を除く - 単位: % (対有効)、N=150、有効: 146

大阪府内のNPO・作業所等では、「その他」の回答として「周囲住民の理解が得られる地域」、「交通の便が良く、周りの環境も落ち着いた所」、「1週間~1ヶ月の長期滞在型で落ち着いていられるところ」、「駐車スペースがあってレンタカーで移動することが可能なところ」、「商店街の隣」などが見られた。

適当と思われる場所の具体的な地域名としては、主に次の回答があった。

大阪市内

生野区(鶴橋、桃谷、コリアンタウン) / 天王寺区(四天王寺、夕陽ヶ丘界限) / 北区(梅田、中崎、天神橋筋) / 中央区(難波、千日前、空堀、船場、黒門市場、松屋町筋周辺) / 大正区(おきなわ文化) / 港区(築港地域) / 淀川区(十三方面、西中島南方方面) / 阿倍野区(昭和町) / 旭区(千林) / 鶴見区(花博記念公園周辺) / 東住吉区(長居スポーツセンター近辺) / 住吉区(あびこ) / 平野区 / 東住吉区 / 福島区 / 西区 / 大阪市内の河川や堀の近く

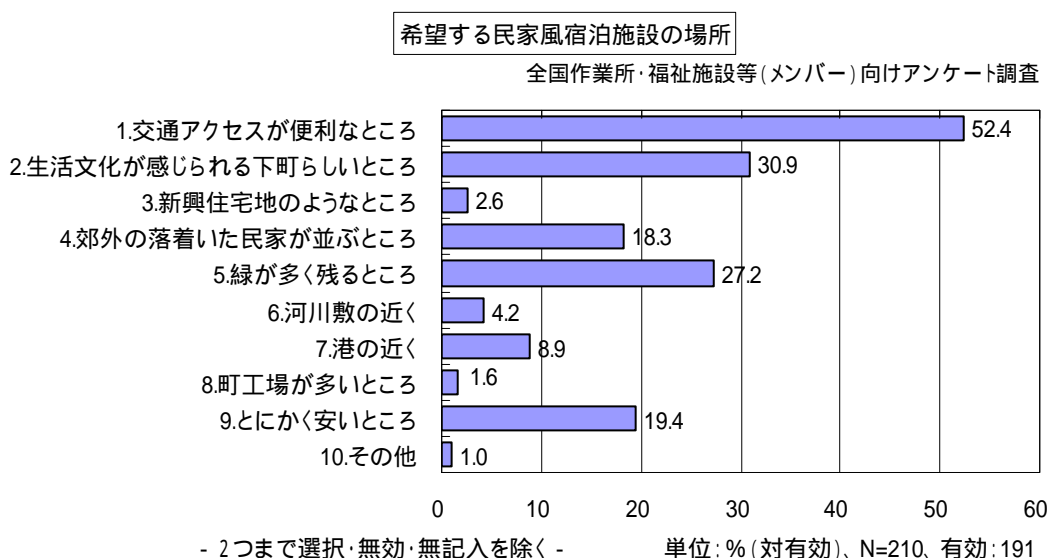
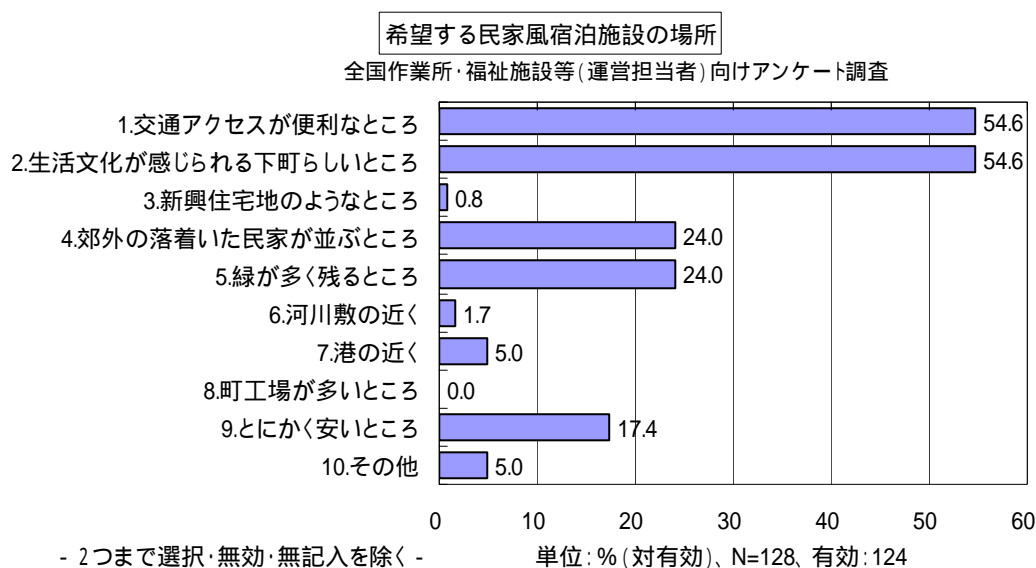
大阪市外の市町村

東大阪市(石切神社参道、高井田、柏田、瓢箪山) / 枚方市(ワニ公園・山田池公園) / 吹田市(千里ニュータウン) / 八尾市(大窪、恩智、久宝寺緑地近辺) / 富田林市(寺内、歴史ある空家でゆったりのおんびりリフレッシュの旅) / 高槻市 / 堺市 / 北摂地区(池田、箕面、豊中、吹田) / 大阪府周辺都市(大阪市内を除く)

その他

歴史の古い地域 / 旧街道沿いなど(各市町に残る) / 公園の緑地の近辺 / 山地 / 自然環境に

満ち、太陽光がさんさんと当ることが望ましい/りんご狩り・みかん狩り・ぶどう狩りなどのきせつに3日間食べ放題して泊まれる農村

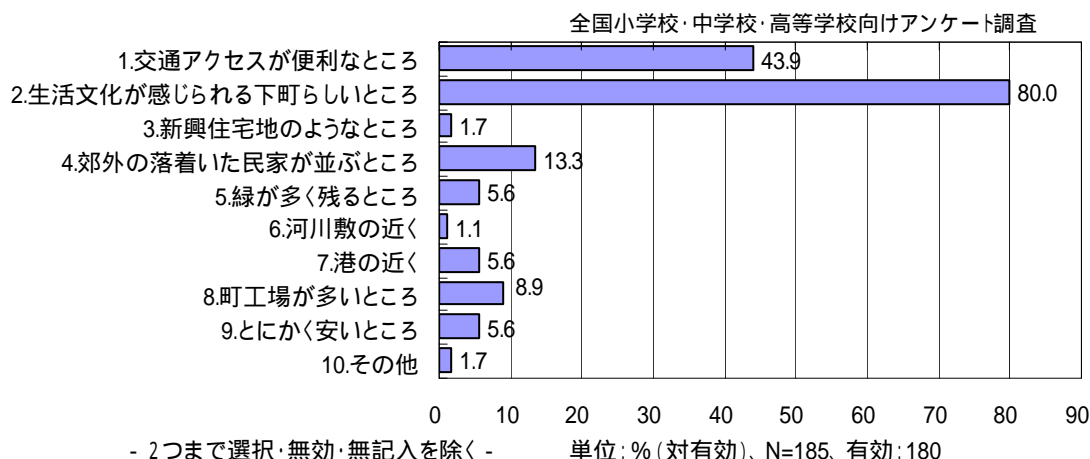


全国作業所・福祉施設等の運営担当者では、「その他」の回答として、「安全なところ」、「バリアフリー度」、「ハード面が整っている所」などが見られた。

適当と思われる場所の具体的な地域名としては、「船場」「鶴橋、コリアタウン」「道頓堀・心斎橋・ミナミの近辺」「天六」「USJ」「緑地公園」「吹田」「東大阪」などがあつた。また、「天六周辺は特に心なごむ場所。鶴橋や天王寺は少し人口密度が高すぎて初めて訪れる観光客や障害者はストレスを感じるかも。空堀は落ちつける場所で交通の便も含めてベスト」という回答もあつた。

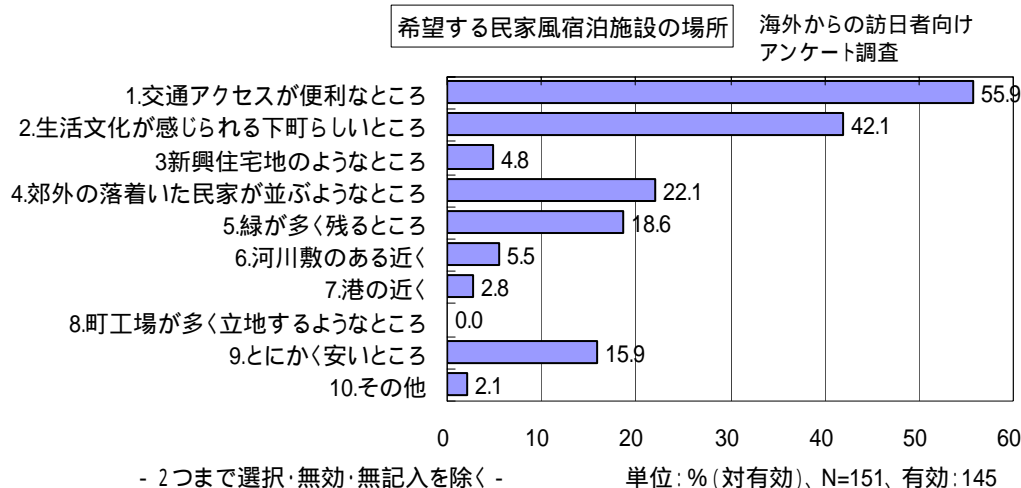
メンバーでは、「その他」の回答として「親戚が居る所」、「バリアフリーな所」があり、具体的な地域名では「大阪駅、梅田」「難波、道頓堀、千日前通り、大阪ミナミ」「適塾周辺」「大阪市内」などがあつた。

希望する民家風宿泊施設の場所



全国小中学校・高校では、「その他」の回答として「安全なところ」があり、具体的地域名では「天王寺」「堺」「千早赤阪村」「金剛山」といった回答があった。

希望する民家風宿泊施設の場所



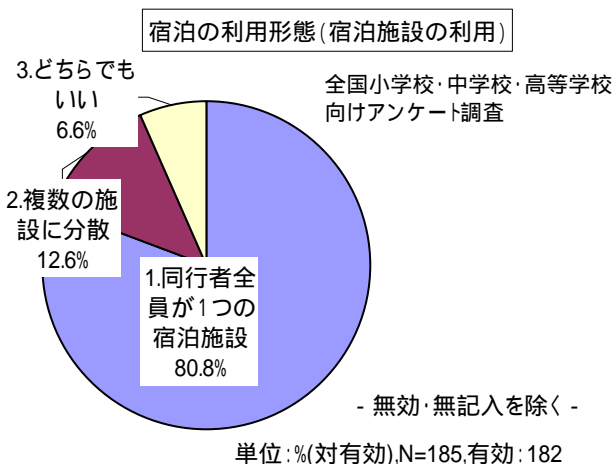
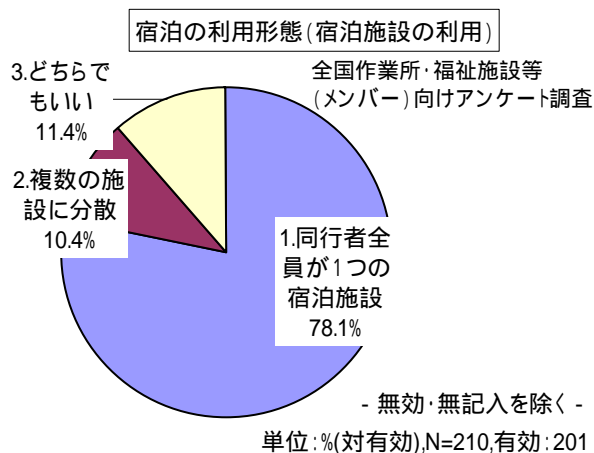
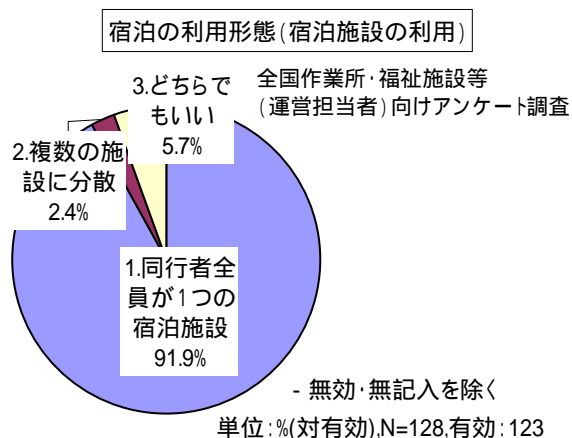
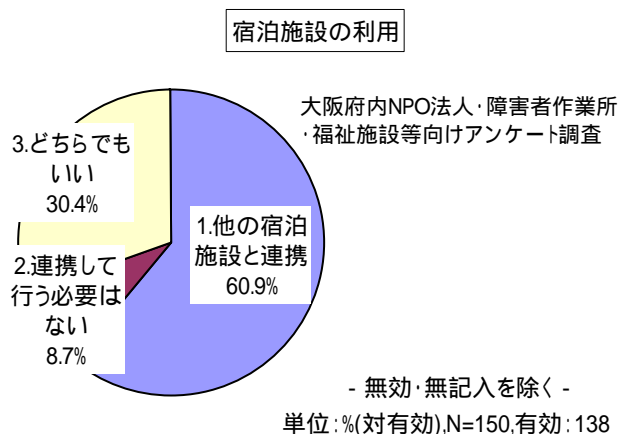
海外訪日者では、「その他」の回答として、「(近隣に)電化製品を含むショッピングができる場所があるところ」があった。

具体的な地域名では、「新大阪」「梅田」「心斎橋、難波、日本橋」「大阪城」「USJ」「茨木市」「ショッピングのできる場所」「田舎に住んでいるので夜の街」「泊まれるところであればどこでも可」などが見られた。

(2)「民家風宿泊施設」のサービス・利用方法

宿泊施設の利用形態

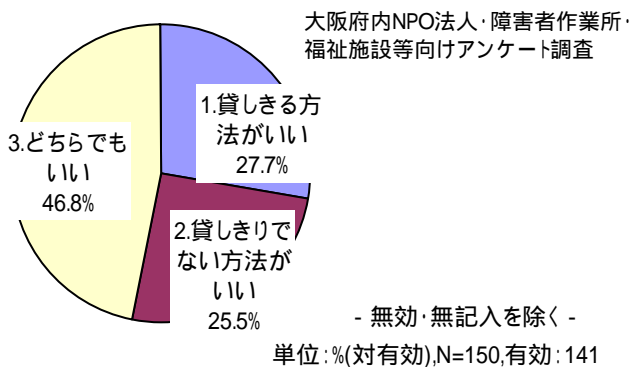
- 「民家風宿泊施設」のサービス・利用方法について、担い手としてのNPO・作業所等は、「他の宿泊施設との連携」が必要と考えるところが多く6割、必要ないは1割弱。
- 一方、利用する側の作業所・福祉施設等では、「同行者全員が一つの宿泊施設で宿泊」を希望するところが圧倒的に多い(運営担当者は9割、メンバー回答は8割弱)。
- 小中学校・高校でも8割が「同行者全員が一つの宿泊施設で宿泊」を希望している。
- このことから、担い手はまちの空き家を生かすには、他の宿泊施設と連携した宿泊サービスが必要と考えるが、利用者は同行者全員が一つの施設での宿泊を望んでいることが分かる。



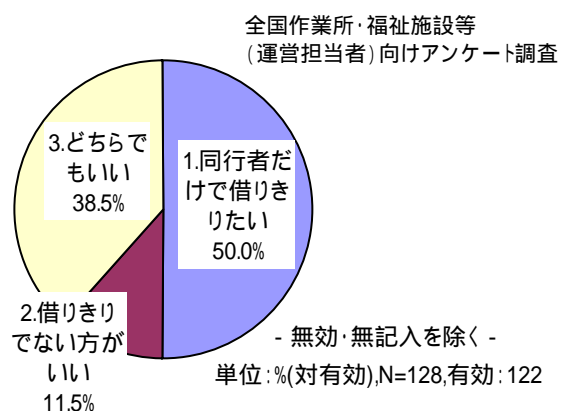
宿泊施設の貸しきり

- 宿泊施設の貸しきりについては、担い手としてのNPO・作業所等は「貸しきり方法」と「貸しきりでない」が半々でともに3割弱。
- 宿泊利用者の作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)と小中学校・高校では、「同行者だけで借りきり」の希望がそれぞれ5割弱と8割弱が多い。「借りきりでない方がいい」は各々1割と2割弱で少ない。ただ、作業所等では「どちらでもいい」が4割あることから、工夫次第では借りきりでなくてもいいとも読み取れる。
- 海外訪日者は、「同行者だけで借りきり」が6割弱と多数を占め、「どちらでもいい」が3割、「借りきりでない」が1割強となっている。

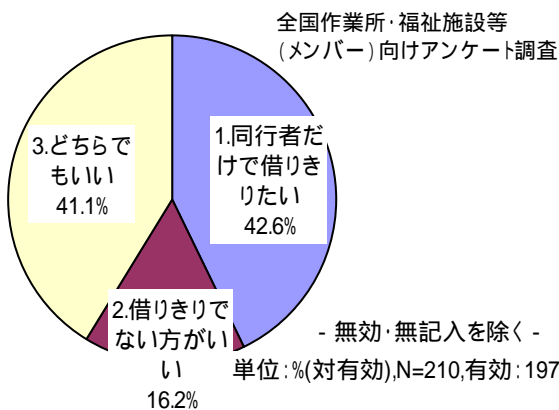
宿泊施設の貸しきり



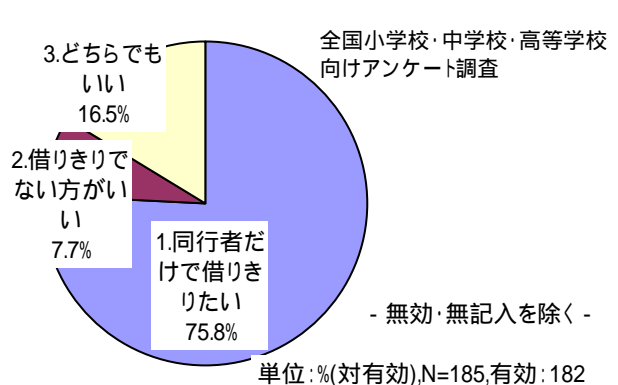
宿泊の利用形態(宿泊施設の借りきり)



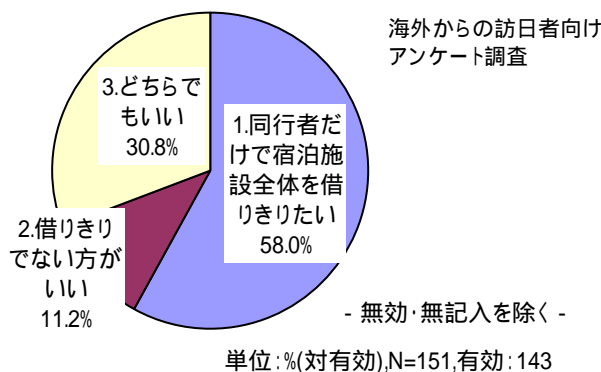
宿泊の利用形態(宿泊施設の借りきり)



宿泊の利用形態(宿泊施設の借りきり)



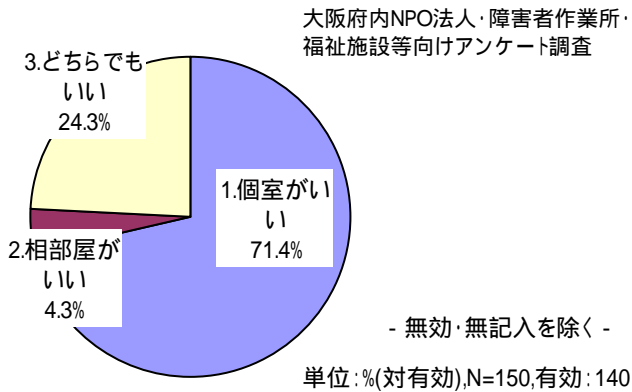
宿泊の利用形態(宿泊施設の借りきり)



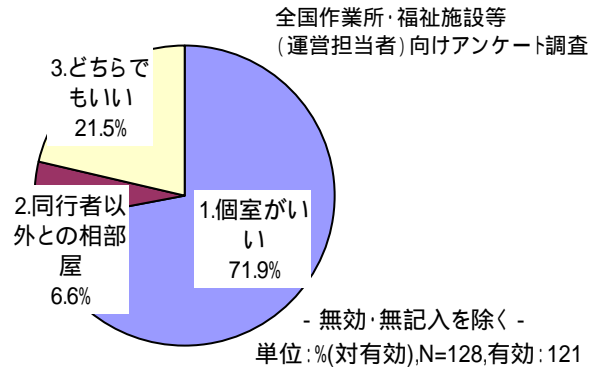
客室の利用

- 宿泊施設の客室利用については、担い手のNPO・作業所等としても、宿泊利用者の作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)や小中学校・高校としても共に、「個室がいい」とする回答が各7割程度で圧倒的に多い。
- 海外訪日者も同様に、「個室がいい」が際立って多く8割弱。

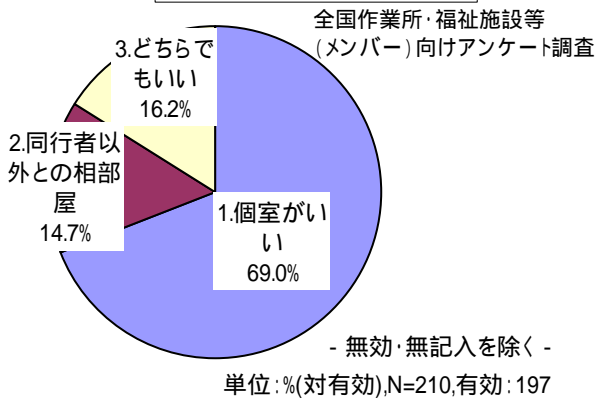
客室の利用



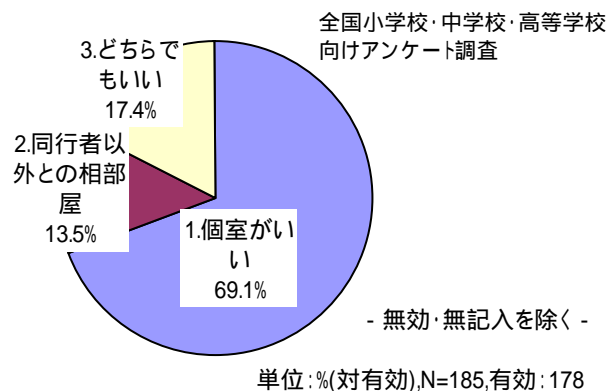
宿泊の利用形態(客室の利用)



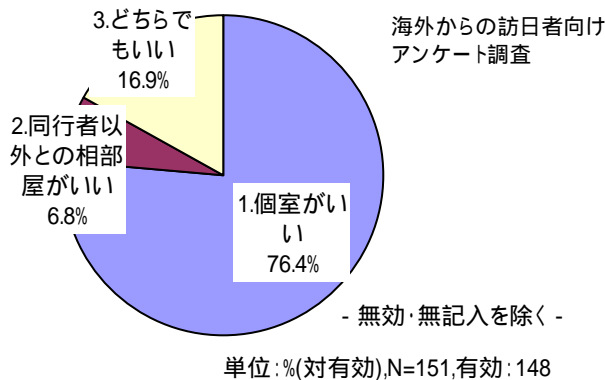
宿泊の利用形態(客室の利用)



宿泊の利用形態(客室の利用)

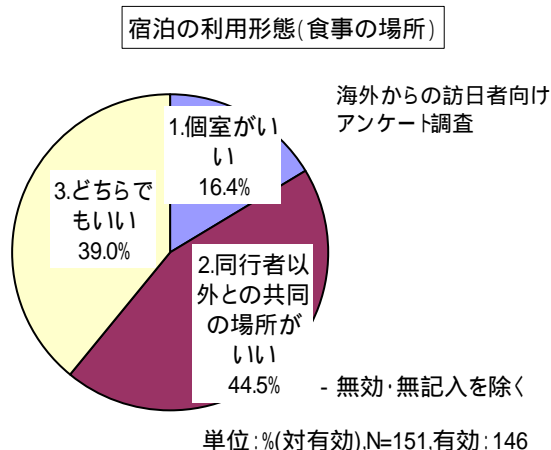
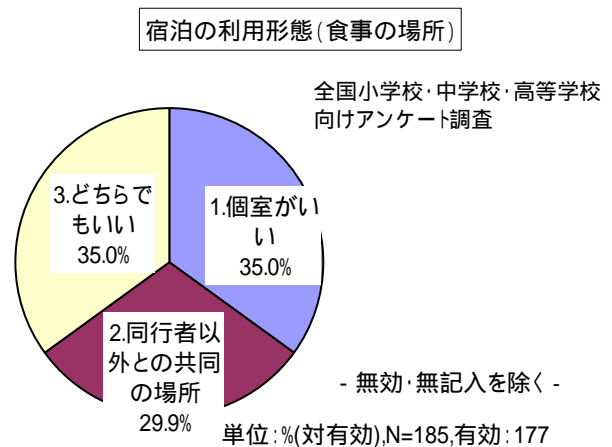
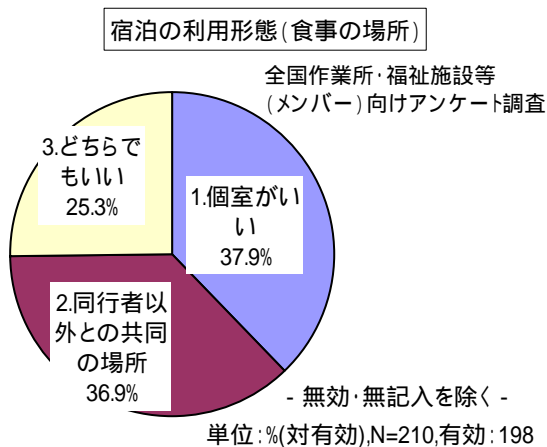
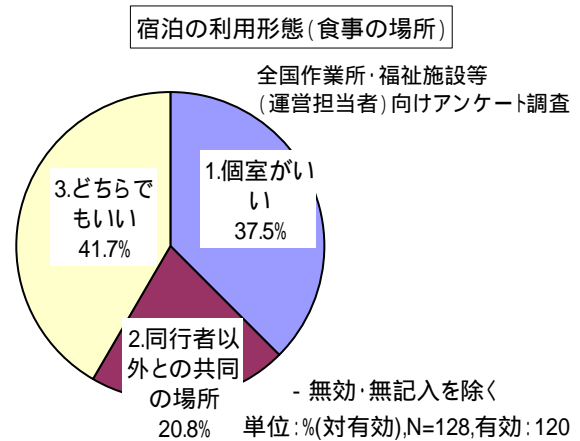
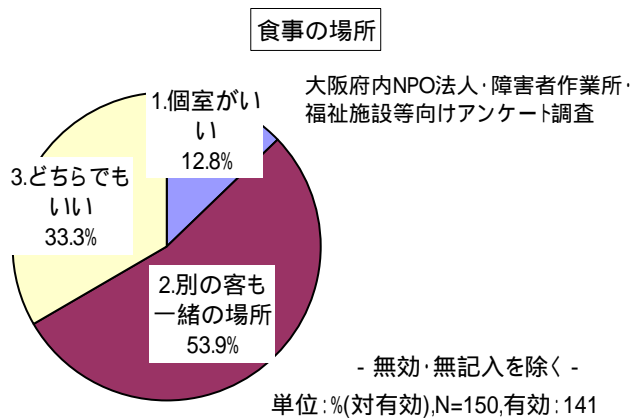


宿泊の利用形態(客室の利用)



食事の場所

- 宿泊施設の食事の場所については、担い手としてのNPO・作業所等は「別の客も一緒の場所」が5割強と多く、「個室がいい」は1割強で少ない。
- 一方、宿泊利用者としては、作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)と小中学校・高校がともに「同行者以外との共同の場所」と「個室がいい」と「どちらでもいい」が各々2～4割弱で同程度。
- ただ、作業所・福祉施設等の運営担当者(団体)では「共同の場所」が2割で少なめ。
- 海外訪日者では、「同行者以外との共同の場所がいい」と「どちらでもいい」が4割前後で多く、「個室がいい」は2割弱と少ない。

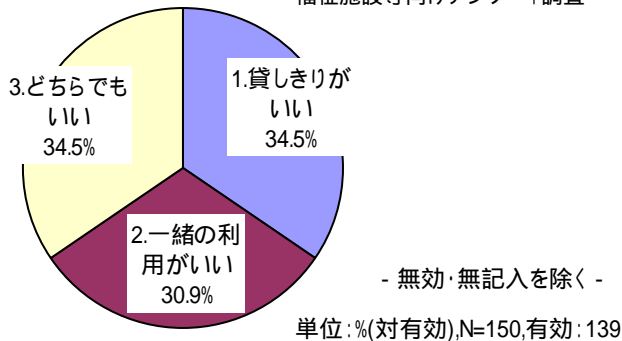


風呂の利用

- 宿泊施設の風呂の利用については、担い手としてのNPO・作業所等は「貸しきりがいい」と「一緒の利用がいい」と「どちらでもいい」が各々3割で同程度。
- 宿泊利用者としての作業所・福祉施設(運営担当者とメンバー)と小中学校・高校は、「借りきりがいい」が5～6割で多く。「同行者以外との共同利用がいい」は、作業所等の運営担当者と小中学校・高校で特に少なく、それぞれ1割と2割弱。
- 海外訪日者では、「貸しきりがいい」が6割強で多く、「同行者以外との共同利用がいい」は8%と少ない。
- ただ、利用者回答では、どの調査も「どちらでもいい」が2～4割程度あり、工夫次第では共同利用でも可能ともいえる。

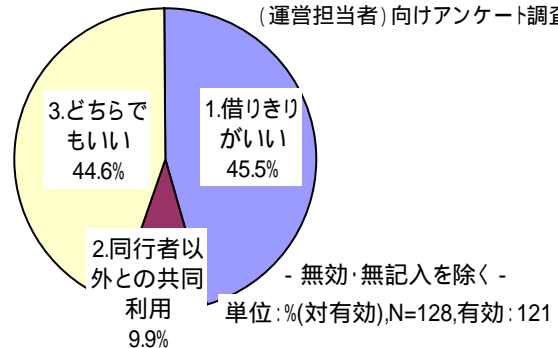
風呂の利用

大阪府内NPO法人・障害者作業所・福祉施設等向けアンケート調査



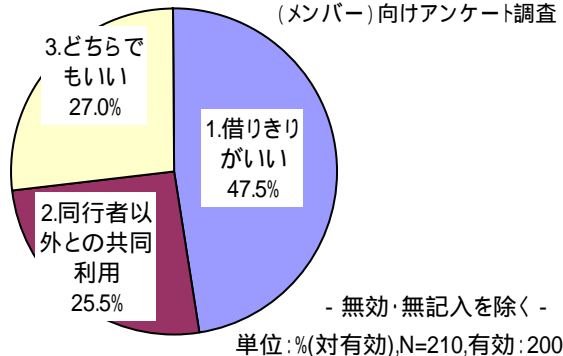
宿泊の利用形態(風呂の利用)

全国作業所・福祉施設等(運営担当者)向けアンケート調査



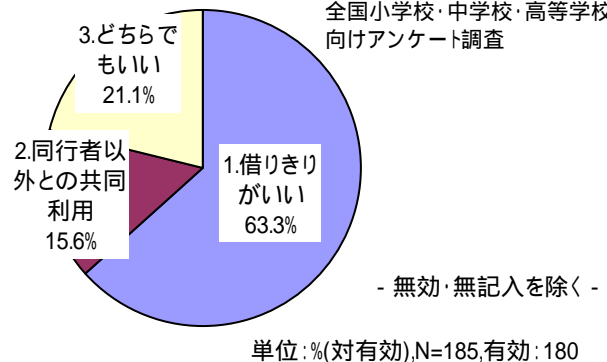
宿泊の利用形態(風呂の利用)

全国作業所・福祉施設等(メンバー)向けアンケート調査



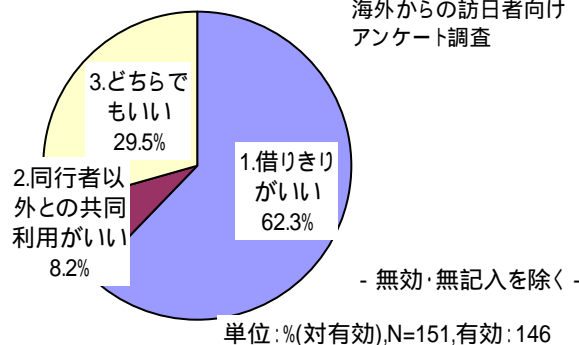
宿泊の利用形態(風呂の利用)

全国小学校・中学校・高等学校向けアンケート調査



宿泊の利用形態(風呂の利用)

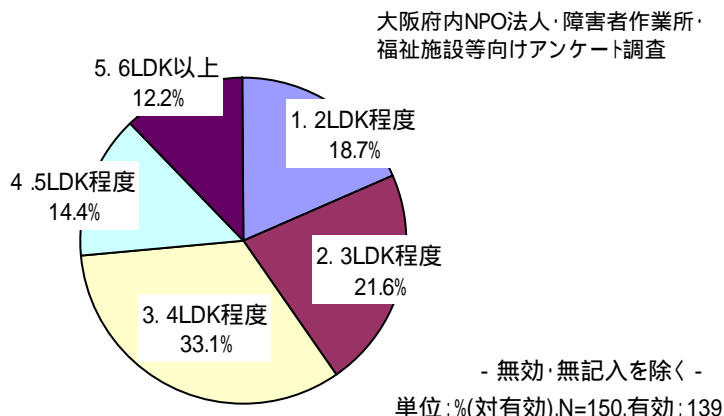
海外からの訪日者向けアンケート調査



(3)「民家風宿泊施設」に活用する空き家の広さ

- 民家風宿泊施設事業で適当と考えられる空き家の広さについて、担い手としてのNPO・作業所等は「4LDK程度」が適当とする回答が最も多く3割強、「3LDK」と「2LDK」が各2割程度。「5LDK」以上の広さが必要だとするものは3割弱ある。

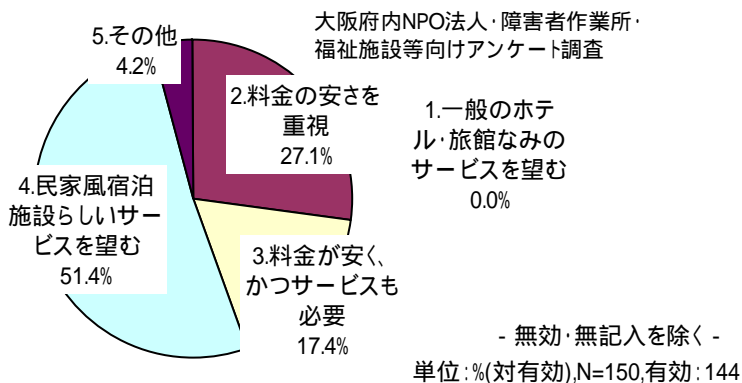
民家風宿泊施設事業で適当と考えられる空き家の広さ



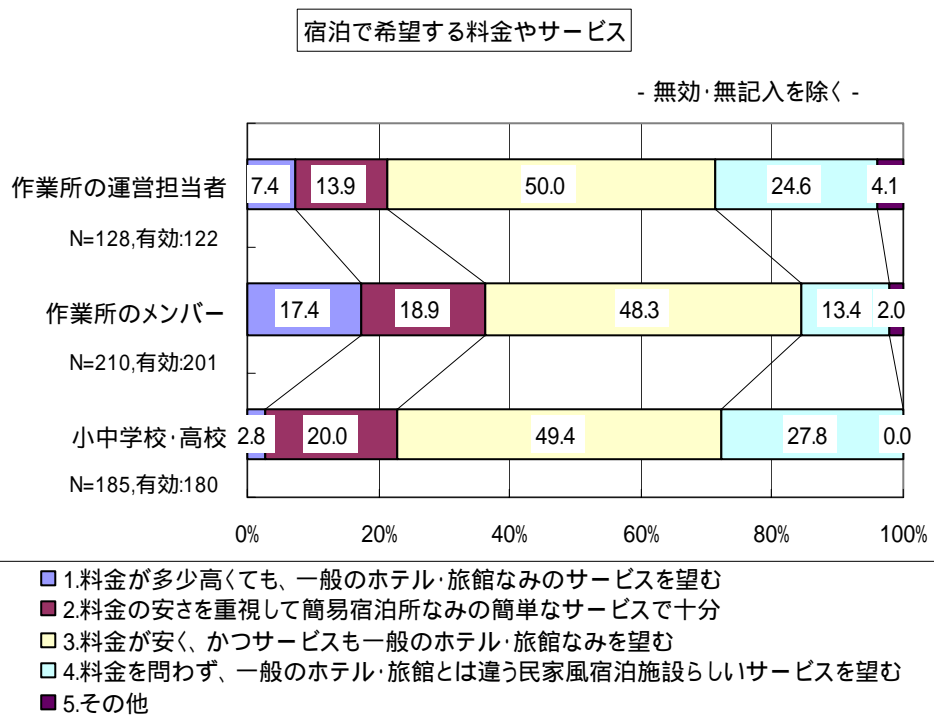
(4)「民家風宿泊施設」の料金・サービス

- 民家風宿泊施設で重視すべき料金・サービスでは、担い手としてのNPO・作業所等は「料金を問わず、民家風宿泊施設らしいサービスを望む」が多く5割以上を占める。
- 一方、宿泊利用者の作業所・福祉施設等（運営担当者とメンバー）と小中学校・高校回答では、「料金が安く、かつサービスも一般のホテル・旅館なみ」が多く各5割を占める。ただ、「料金の安さを重視して簡易宿泊所なみの簡単なサービス」と「料金を問わず、民家風宿泊施設らしいサービスを望む」を合わせるとそれぞれ3～5割と少なくない。
- 海外訪日者でも、上記利用者と同じような傾向を示すが、特に特徴としては、「料金の安さを重視して簡易宿泊所なみの簡単なサービスで十分」が3割弱と比較的多い。

民家風宿泊施設事業で重視すべきと思われる料金やサービス

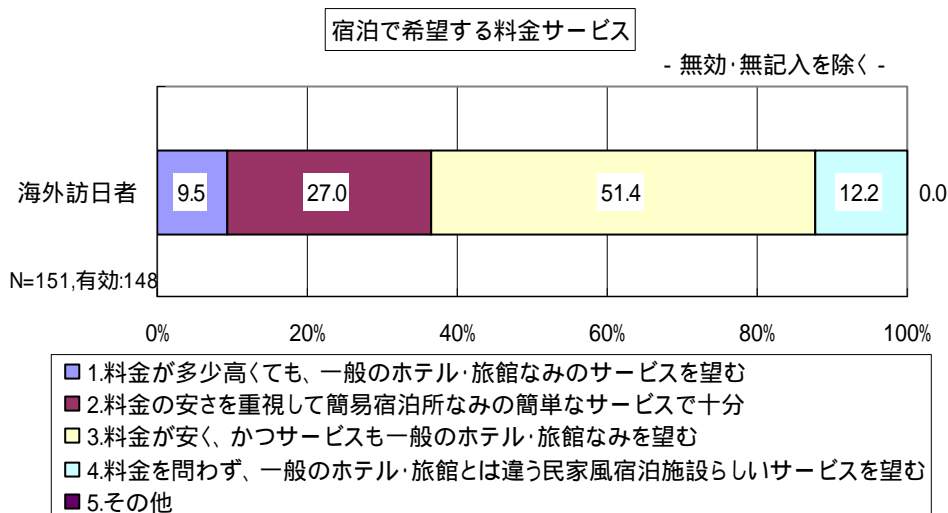


大阪府内のNPO・作業所等では、「その他」の回答として、「外国のB & Bのように家庭的サービスを提供して料金も手頃にする」、「欧米のYH、バックパッカーのようなもの」、「料金は安価で民家風宿泊施設がよい(GH、レスパイト利用)」、「融通がきいて利用者の使いやすいようにする」、「気をつかわなくてすむようにしてもらいたい」、「年齢により料金をかえる(18歳未満、成年、老年にわける)」、「何をコンセプトにするのかによって、宿のあり様や想定する客、客のニーズは全く変わる」があった。



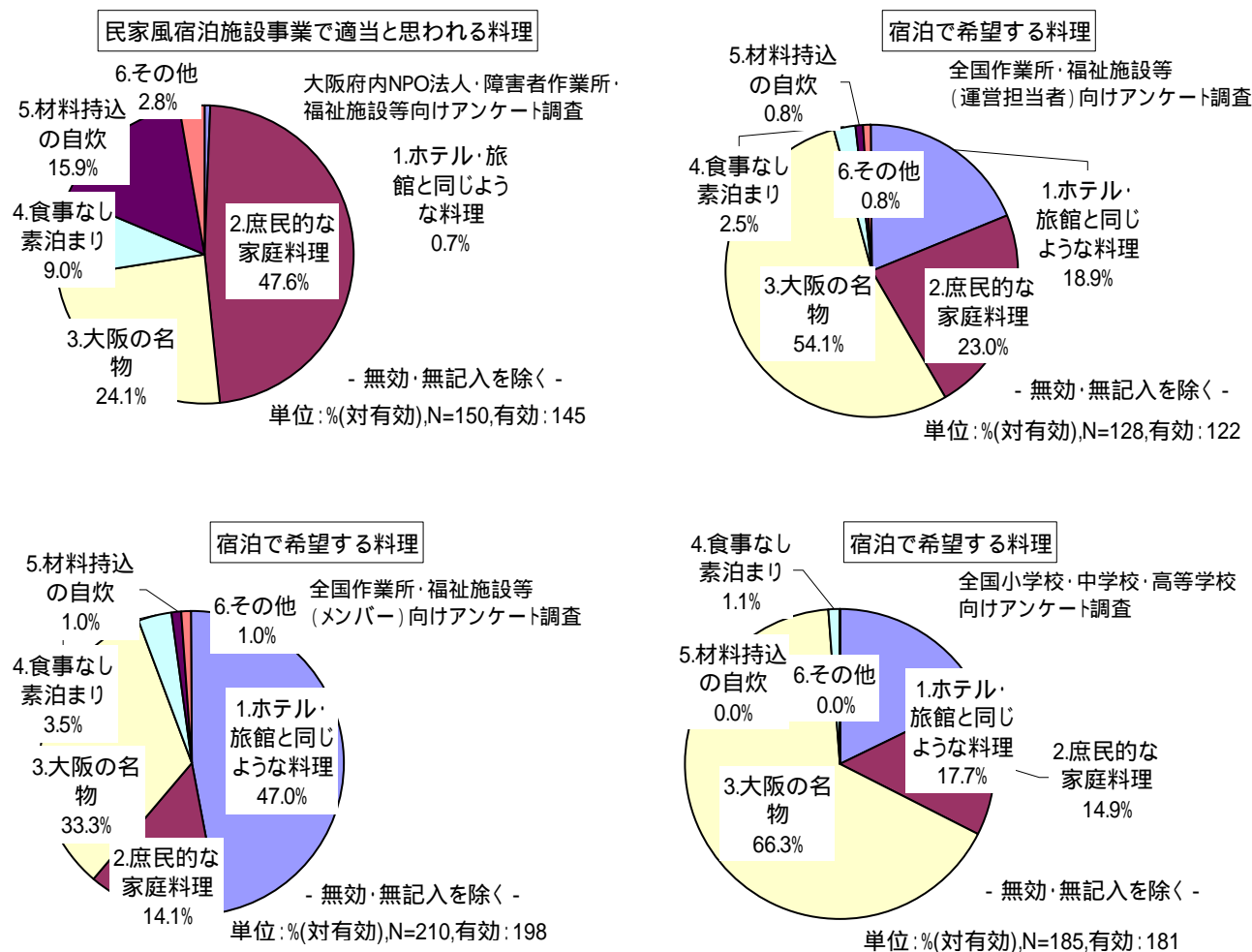
全国作業所・福祉施設等の運営担当者では、「その他」の回答として、「料金は中くらいで、一般のホテル旅館とは違う民家風宿泊施設らしいサービス」、「家庭的なサービスと料金」、「料金が安く、障害者への理解」、「バリアフリーなど障害者にやさしい施設」、「料金が安く、皆さんの事を理解して配慮して頂けること」が見られた。

メンバーの「その他」の回答は、「料金が安く、民家風宿泊施設らしいサービス」、「料金は安い方がよいが、サービスは心のこもった暖かいサービスをして欲しい」、「障害者にやさしいハード、ソフト両面を兼ねたものを希望」、「こちらの希望をフレキシブルに聞いてくれること」が見られた。



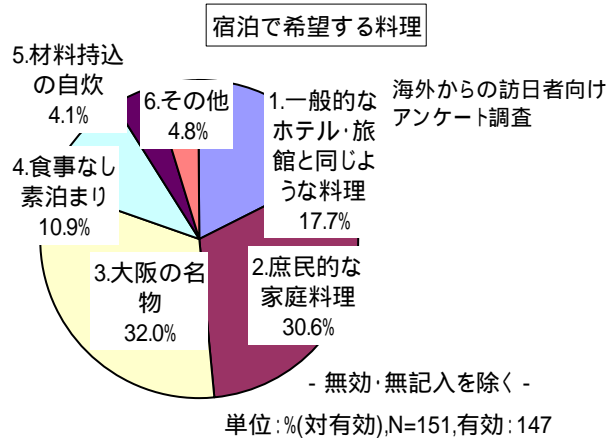
(5)「民家風宿泊施設」での料理

- 民家風宿泊施設で適当と考える料理では、担い手としてのNPO・作業所等は「庶民的家庭料理」が多く5割弱を占め、「大阪の名物」が2割強と続く。
- 一方、宿泊利用者として希望する料理では、作業所・福祉施設等の運営担当者と小中学校・高校は「大阪の名物」が最も多く、それぞれ5割強と7割弱。作業所・福祉施設等のメンバーは「一般のホテル・旅館と同じ」が5割弱で最も多い。
- 海外訪日者では、「大阪の名物」と「庶民的家庭料理」が3割で多い。また特徴として、野菜中心のメニュー(ベジタリアン)を希望する者も多い。



大阪府内のNPO・作業所等では、「その他」の回答として、「大阪の特色を生かした食事」、「利用者の選択肢に合わせたサービス」、「家庭的な料理と材料持込の自炊どちらも」、「大阪の名物、食事なしの素泊まり、材料持込の自炊のどれも」があった。

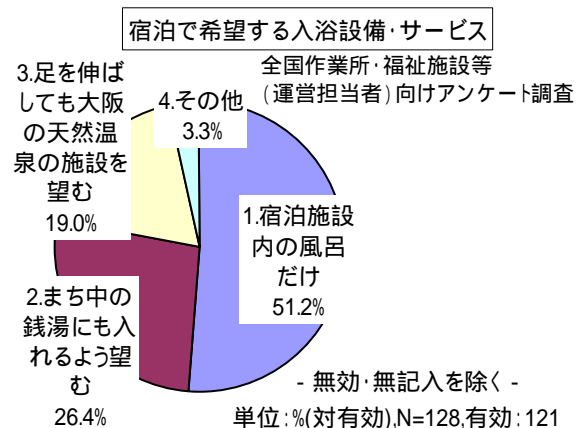
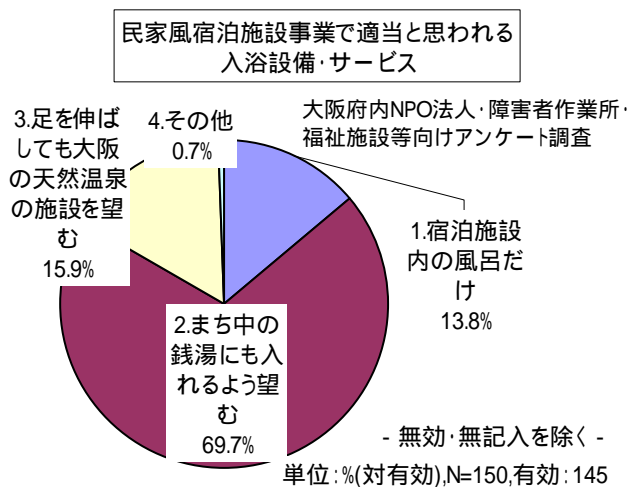
全国作業所・福祉施設等では「その他」として、運営担当者が「家庭料理と大阪らしい料理」、メンバーが「大衆食堂の様な感じで、酒のつまみが一品料理であればなお良い」を回答していた。



海外訪日者では、「その他」の回答として、「野菜中心のメニュー(ベジタリアン)」を望む声が多く見られた。

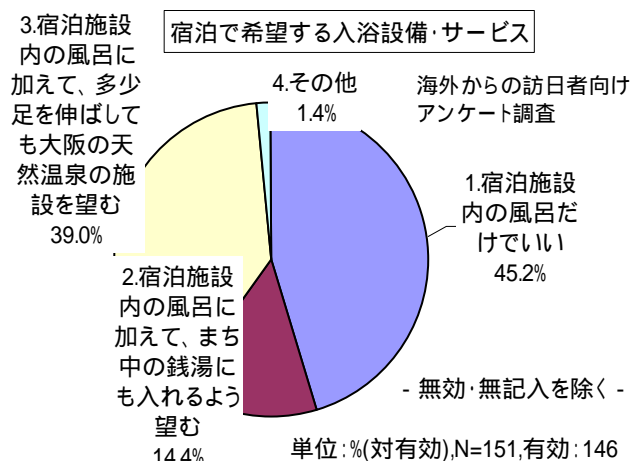
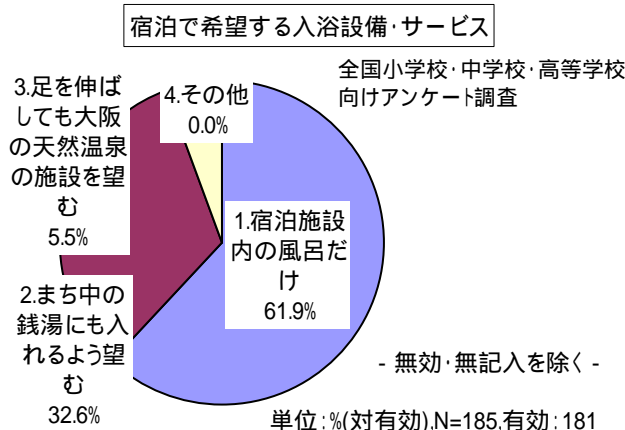
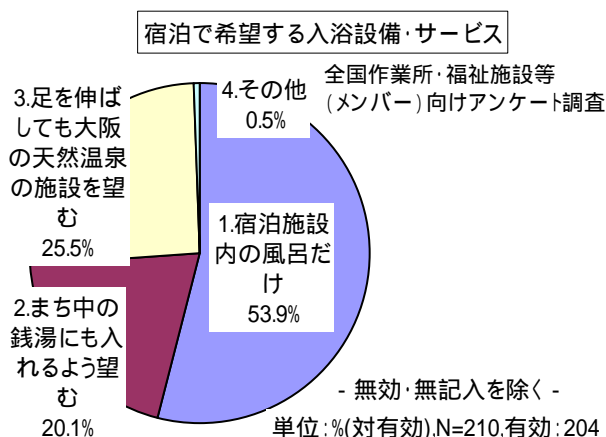
(6)「民家風宿泊施設」での入浴設備・サービス

- 民家風宿泊施設で適当と考える入浴設備・サービスでは、担い手としてのNPO・作業所等は「施設風呂に加えて、まち中の銭湯にも入れるように望む」が多く7割を占める。
- 一方、宿泊利用者として希望する入浴設備・サービスでは、作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)と小中学校・高校ともに、「宿泊施設内の風呂だけ」が多く各調査とも5~6割を占める。作業所等のメンバーと小中学校・高校では「まち中の銭湯にも」が3割あり少なくない。
- 海外訪日者では、「宿泊施設内の風呂だけでいい」が5割弱、「宿泊施設の風呂に加えて、多少足を伸ばしても大阪の天然温泉の施設を望む」が4割弱で多い。「施設風呂に加えて、まち中の銭湯にも」は1割強で少ない。



大阪府内のNPO法人・障害者作業所・福祉施設等では、「その他」の回答として、「団体の利用者に合わせた内容で」、「天然温泉や銭湯」があった。

全国作業所・福祉施設等の運営担当者では、「その他」の回答として、「宿泊施設内の風呂でいいが、いつでも入れる風呂があればいい」、「清潔で、男女わかれて、大きな風呂で、部屋風呂もあったがよい」、「バリアフリー設備」、「宿泊施設は温泉の風呂を希望」が見られた。メンバーでは、「トイレが確実に利用できること」という回答があった。



海外訪日者では、「その他」の回答として、「風呂つきの部屋」、「プライバシーが守られる環境」があった。

3. 滞在型の大阪観光と観光支援サービスのニーズ

「民家風宿泊施設」を通じた大阪観光と観光支援サービスのニーズ

担い手が薦める大阪観光

「お祭りやイベントの見学・参加」、「市場めぐり」、「モノづくり現場の見学」等

観光客(作業所)が希望する大阪観光

「有名観光施設の観光」、「大阪名物の食べ歩き」、「お祭りやイベントの見学・参加」

「下町の商店街めぐり」、「名所旧跡めぐり」等

観光客(小中高校)が希望する大阪観光

「名所旧跡めぐり」、「モノづくり現場の見学」、「有名観光施設の観光」

「市場めぐり」、「下町の商店街めぐり」、「商店街でのあきんど体験」等

海外訪日者が希望する大阪観光

「有名観光施設の観光」、「お祭りやイベントの見学・参加」、「下町の商店街めぐり」、

「名所旧跡めぐり」、「大阪名物の食べ歩き」、「有名繁華街の散策」、「市場めぐり」等

担い手が薦める大阪の観光支援サービス

「大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供」等

観光客(作業所)が希望する大阪の観光支援サービス

「お勧め観光アドバイス」、「きめ細かな説明の同行案内サービス」

「観光タクシー・送迎サービス」、「介助サービス」等

観光客(小中高校)が希望する大阪の観光支援サービス

「お勧め観光アドバイス」、「きめ細かな説明の同行案内サービス」

「大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供」等

海外訪日者が希望する大阪の観光支援サービス

「通訳サービス」、「大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供」等

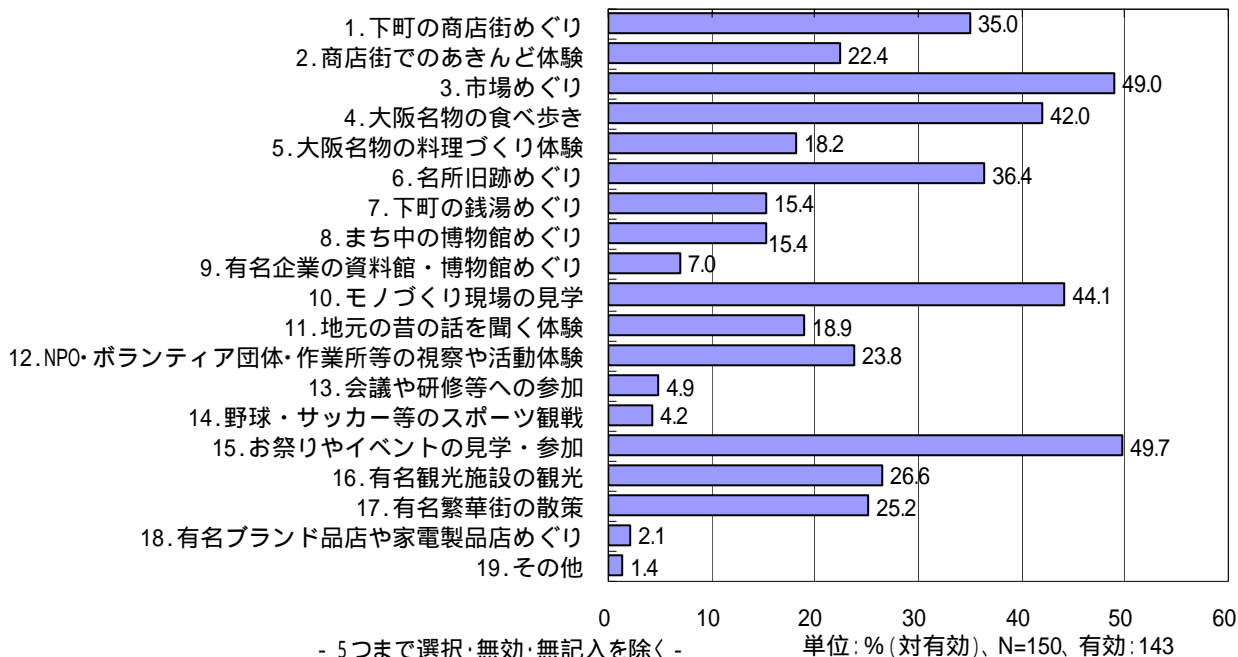
(資料:(特活)市民活動情報センター)

(1) 人々が求める大阪観光のイメージ

- 民家風宿泊施設事業で薦めるのが適当と考える大阪観光について、担い手としてのNPO・作業所等は「お祭りやイベントの見学・参加」、「市場めぐり」、「モノづくり現場の見学」が多く各5割程度。
- 作業所・福祉施設等の運営担当者は「有名観光施設の観光」、「大阪名物の食べ歩き」、「お祭りやイベントの見学・参加」が5～6割で多く、個々のメンバーでは「大阪名物の食べ歩き」が5割強で多い他、「有名観光施設の観光」、「下町の商店街めぐり」、「名所旧跡めぐり」も多く4割前後。
- 小中学校・高校は、「名所旧跡めぐり」、「モノづくり現場の見学」、「有名観光施設の観光」が多く各5～6割程度を占める。次いで、「市場めぐり」、「下町の商店街めぐり」、「商店街でのあきんど体験」が各3～4割程度で多くなっている。
- 海外訪日者では、「有名観光施設の観光」と「お祭りやイベントの見学・参加」が5割、「下町の商店街めぐり」、「名所旧跡めぐり」、「大阪名物の食べ歩き」が4割が多い。「有名繁華街の散策」、「市場めぐり」、「有名ブランド品店や家電製品店めぐり」も3割前後で少なくない。

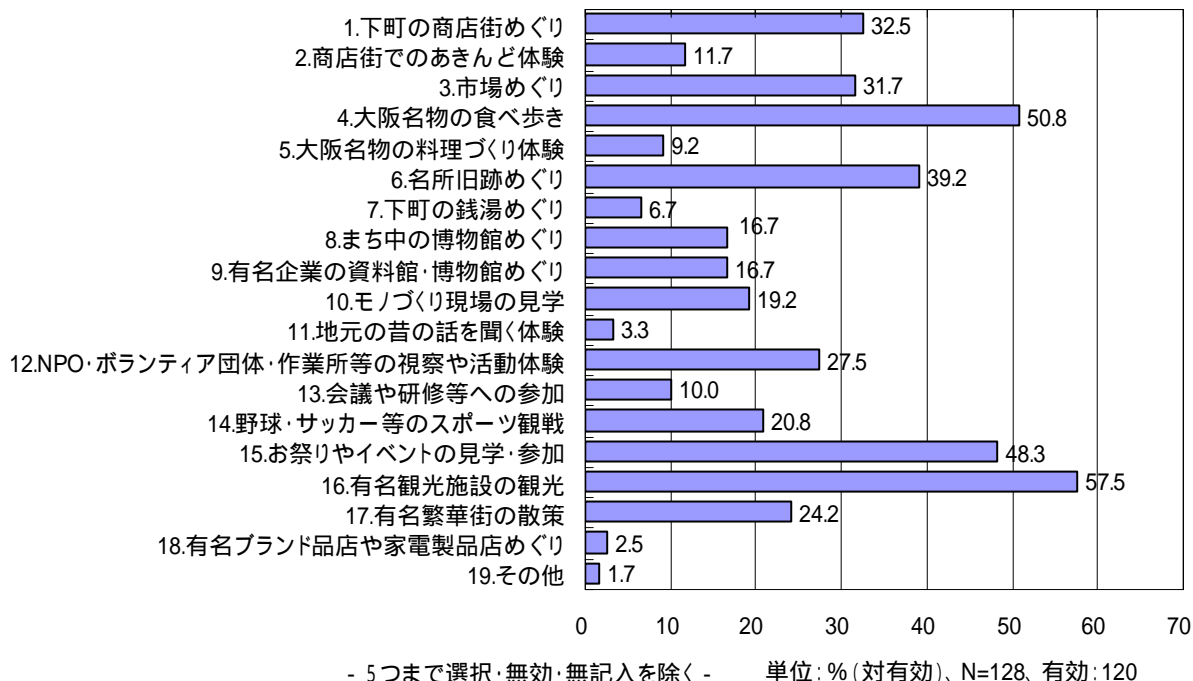
民家風宿泊施設事業で薦めるべきと思われる大阪観光

大阪府内NPO法人・障害者作業所・福祉施設等向けアンケート調査

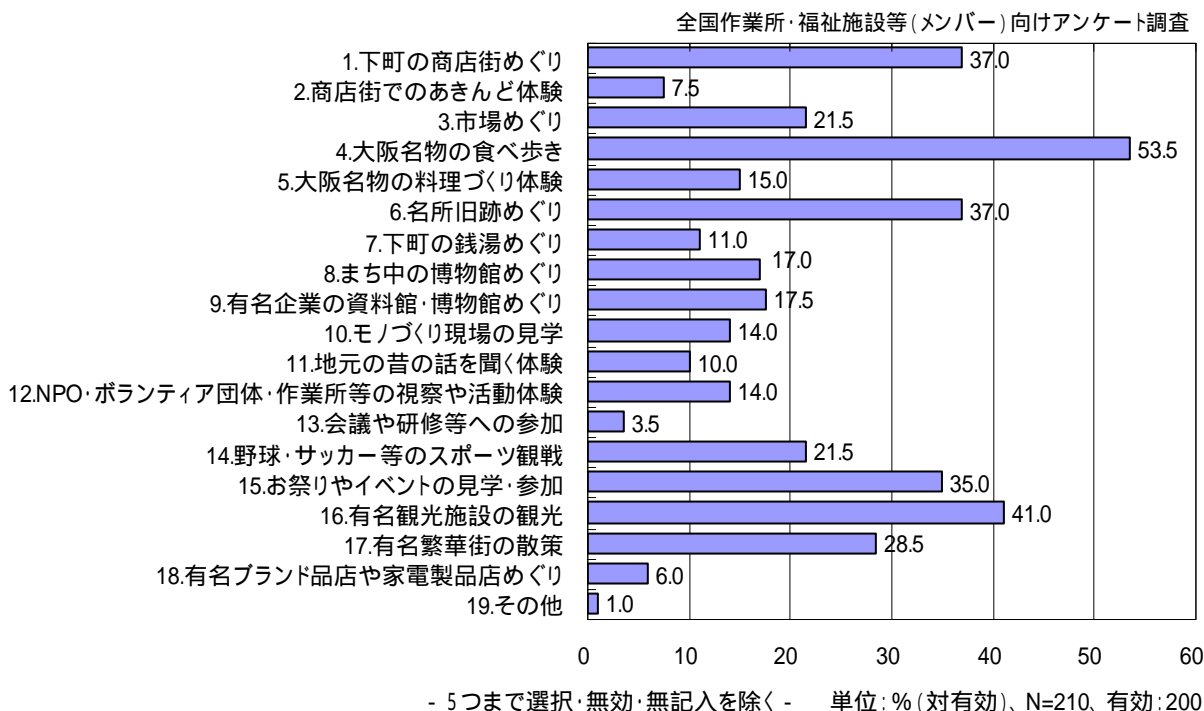


民家風宿泊施設に宿泊して希望する大阪観光

全国作業所・福祉施設等(運営担当者)向けアンケート調査



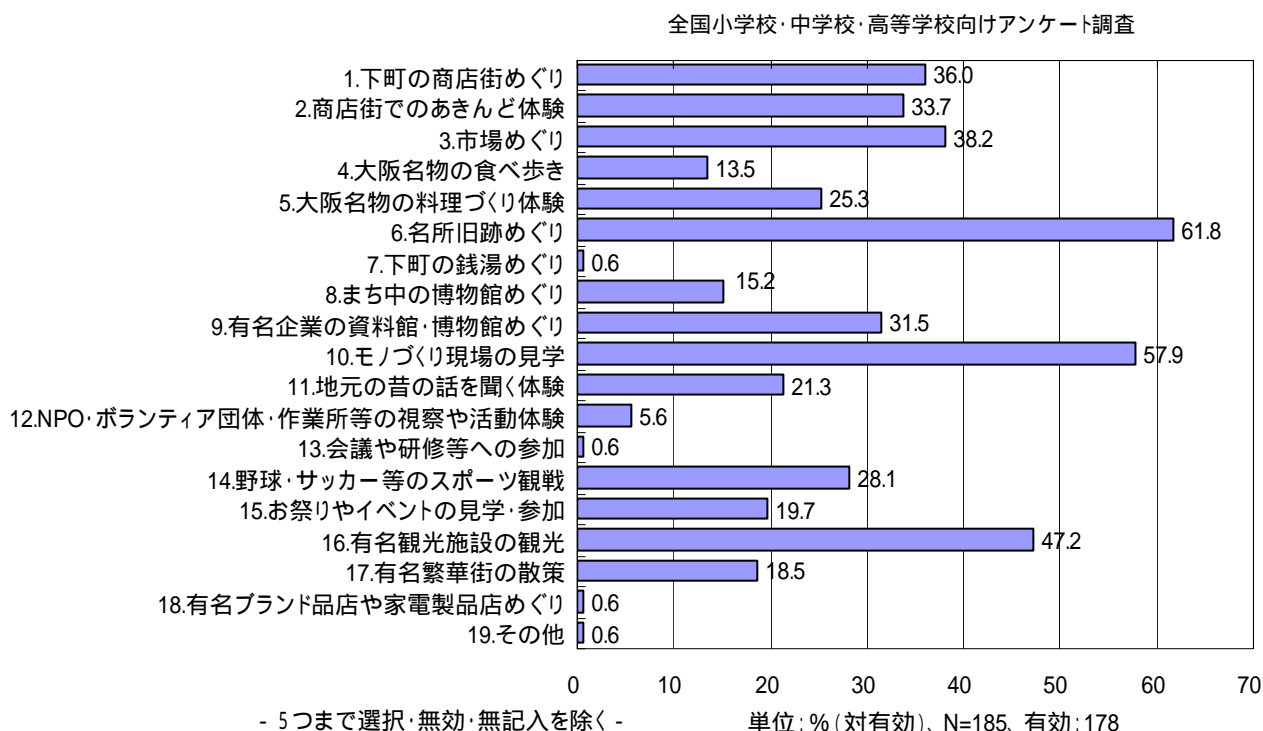
民家風宿泊施設に宿泊して希望する大阪観光



「その他」の回答として、大阪府内のNPO・作業所等では担い手としての立場から「当方で引受ける」が見られた。

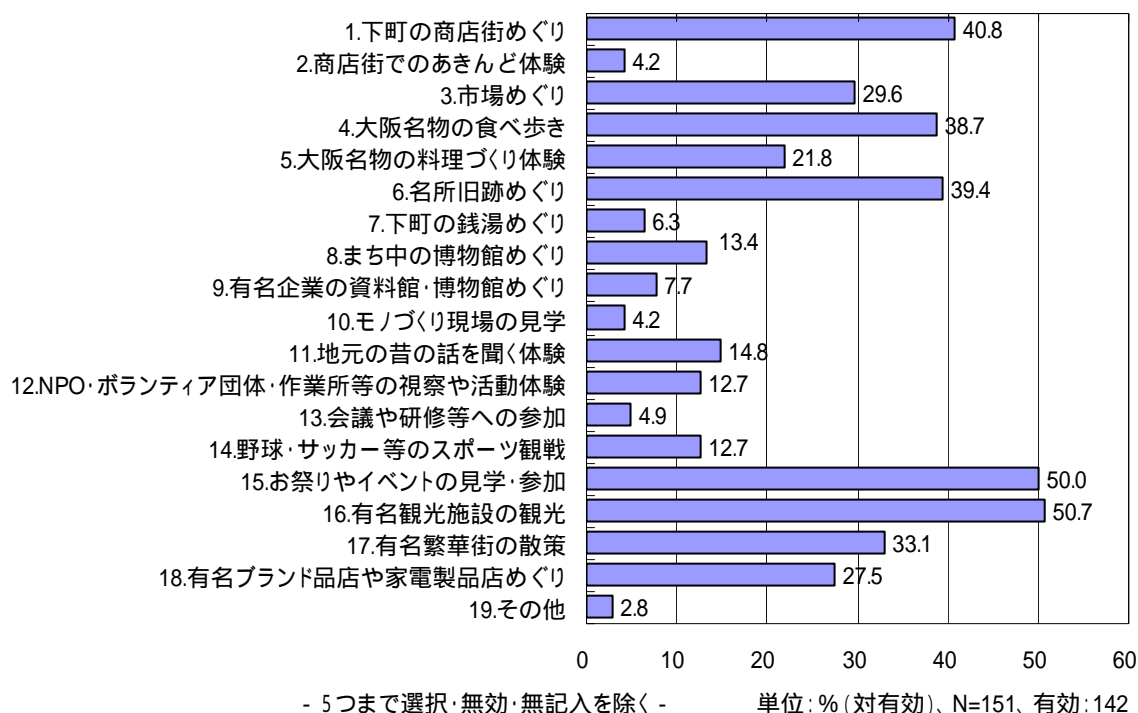
利用者の立場として、全国作業所・福祉施設等の運営担当者では「なんば花月等吉本お笑いツアー」、同メンバーでは「カラオケがあれば良い」が見られた。全国小中学校・高校でも「吉本等の観劇」があった。

民家風宿泊施設に宿泊して希望する大阪観光



民家風宿泊施設に宿泊して希望する大阪観光

海外からの訪日者向け
アンケート調査



海外訪日者では、「その他」の回答として、「文楽など日本の伝統的な文化に関わっている人々に出会うこと」、「夜の街」があった。

(2) 大阪観光で求められる観光支援サービス

- 民家風宿泊施設事業で大阪観光を薦める場合に適切と考える観光支援サービスについて、担い手としてのNPO・作業所等は「大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供」が4割が多い。
- 作業所・福祉施設等(運営担当者とメンバー)では、「お勧め観光アドバイス」、「きめ細かな説明の同行案内サービス」が3～5割で多く、移動支援サービスとしての「観光タクシー・送迎サービス」や「介助サービス」もそれぞれ2～3割見られた。
- 小中学校・高校では、「お勧め観光アドバイス」、「きめ細かな説明の同行案内サービス」、「大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供」が各5割程度。
- 海外訪日者では、「通訳サービス」が4割弱、「大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供」が3割で多くなっている。
- オプションの観光支援サービスは必要ないとする回答は、各調査で総じて少ない。

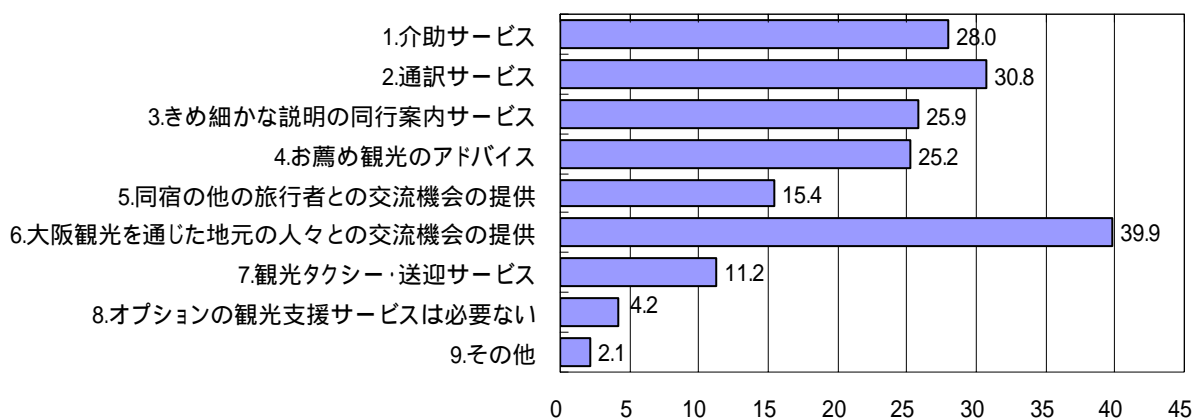
大阪府内のNPO・作業所等では、上記で選択した薦めるべきだと思われる観光支援サービスについて、具体的な回答としては次のものが見られた。なお、以下回答には、ヒアリング調査での回答も含む。

介助サービス

- 障害のある人・高齢者につきそいの人が別のコースを楽しむ(デイ・サービスと観光のミックス)。

民家風宿泊施設事業で薦めるべきと思われる観光支援サービス

大阪府内NPO法人・障害者作業所・福祉施設等向けアンケート調査



- 2つまで選択・無効・無記入を除く -

単位: % (対有効)、N=150、有効: 143

- 子供と親が別あるいは親子で楽しむ体験型の観光プラン。
- 障害のある人が利用する場合、現地で介助サービスが受けられると計画がたてやすい。観光業者が提供するメニューだけでは、体験しにくく、いろいろな人との出会いがあれば体験が深まり、また来たいと思える。
- 障害のある人でも利用できるように介護支援(例えば入浴介助)。

きめ細かな説明の同行案内サービス

- ボランティアガイド(参考: 九条ツアー)。
- 形にはまった案内内容ではなく、ユーモア、関西弁などを取り入れたホットな案内サービス。
- ボランティアガイド(有償、無償)の人達が活躍できる状況を作ること。
- それぞれの地域の歴史めぐり(区単位ぐらいの歴史の説明)。
- 創意工夫の意見により観光コースを設定し、楽しんでもらう(また来たいと思ってもらう)。
- 観光ボランティアとしてのシルバー世代、もしくは障害者の雇用。

お勧め観光アドバイス

- パンフの常設と案内アドバイスをできる人・機関の配置。
- 予約時にお薦めを確認し、パンフを作り(内容、地図) 利用者へ送る。
- 多用なプランの案内所と情報力。

同宿の他の旅行者との交流機会の提供

- 同宿者の名簿作りから参加者の和をつくり組織化が必要。
- 利用者の希望に応じて、助言できるよう情報を充実させておくとともに、旅行者同士のノウハウを提供しあえる雰囲気をつくる。

大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供

- 直接に地域の文化に触れてもらう(地元の昔の話を聞く体験、商店街でのあきんど体験、モノづくり現場での体験)。
- 様々な商店街、自治会、福祉関係団体、行政のネットワークをつくり協力しあう。
- サービスよりも、例えば商店街全体が受け入れる雰囲気があり、宿自体にYHのような体験アルバイトOKとか、安いお金でも回れるようなのがあった方がよい。
- 地元のイベントに参加する観光。
- 商店街での地元の人々との触れ合いができる観光。
- 見るだけでなく、参加型、体験型の観光。
- 出来るだけ地域や地元住民との人間同士の交流ということにつながるプログラム・支援。

観光タクシー・送迎サービス

- 観光スポットめぐりをできるタクシー会社との契約。
- 観光の足の確保としてリフト付きマイクロバス等の提供。
- 高齢者、障害者が観光で移動を行う時には、最短距離で楽しめて満足できるようなサービス。

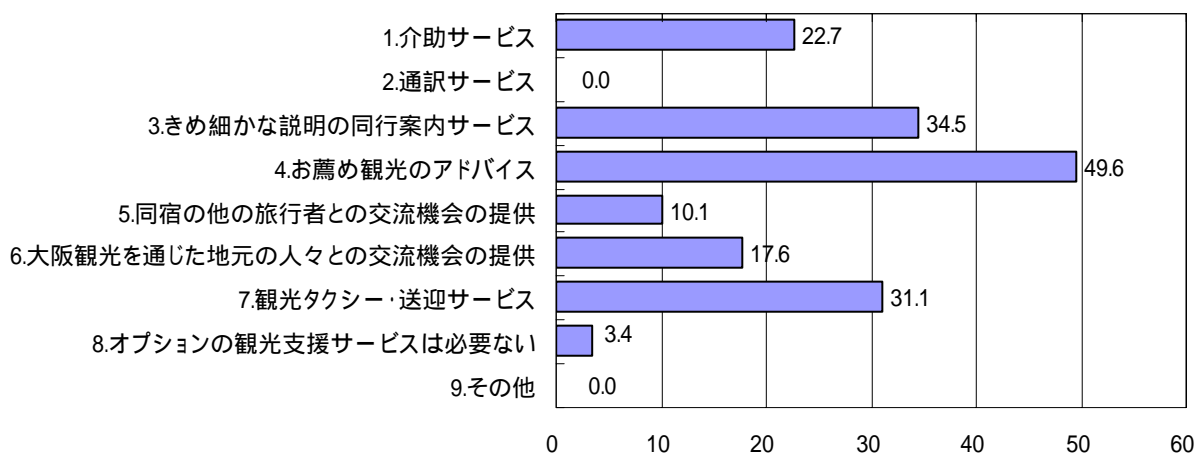
- 小型バス(100円バス)の増発(どこにでもとまる)
- 体の不自由な方にも利用しやすいように介護タクシーなどの配慮が必要。
- 小型バスにより観光案内(自治体公認)
- スペシャル・トランスポートサービス、高齢者・障害者向移動・送迎サービス

その他

- 地場特産品の展示、体験施設
- 大阪人の良い人間性を感じていただく様な機会の提供。
- 車イスの人でも泊まりやすくバリアフリーを重視し、サービスではなく安く泊まれる暖かい宿泊場所の提供。宿泊・観光支援サービス事業を障害者の作業所等が行うことで、作業所の活動の場を拡げる。

民家風宿泊施設で希望する観光支援サービス(オプション)

全国作業所・福祉施設等(運営担当者)向けアンケート調査



- 2つまで選択・無効・無記入を除く -

単位: % (対有効)、N=128、有効:119

全国作業所・福祉施設等の運営担当者では、上記で選択した希望する観光支援サービスについて、具体的な回答としては次のものが見られた。なお、以下回答には、ヒアリング調査での回答も含む。

介助サービス

- 作業所のメンバーと同伴を考えると、ゆっくりと安全で楽しめる旅が一番。
- 障害者にとって利用しやすく安全なサービス。観光等において一般客とごちゃまぜの扱いとなると、介助者や障害者に負担(精神的、身体的に)がかかる。優先させるのではなく配慮をして欲しい。
- 精神障害者の作業所のため、身体的介助ではなく、コミュニケーション上のサポートがあると利用しやすい。宿の近くの商店での買い物について行ってくれたり、銭湯に同行してくれると心強い。
- 知的障害者のケア。

きめ細かな説明の同行案内サービス

- 身体と知的の障害をもつ人達の通所施設ですので、余り徒歩の多い(長い)ところは困る。
- 体の不自由な人のために、ゆったりした行程で、一ヶ所か二ヶ所ぐらいで十分楽しめることを中心にした観光プラン。
- 観光支援サービスはボランティアによる無料を望む。
- グループで夜、散策に出る場合の案内サービス。
- U S Jでは、場内の上手なめぐり方の案内。

お勧め観光アドバイス

- 障害特性を理解していただいた上で適したスポットを紹介して頂く。
- 観光地のアドバイスさえ頂ければ、独自で自由にめぐりたい(対人関係が難しいメンバーもいるため。)
- 簡単なパンフレット・案内書等が欲しい。
- 車イスや障害者の人達でも楽しめるような観光スポットの情報。

- 行くところを探すのが難しいため、美味しく安い店等紹介。予約をしてくれると助かる。
- 皆、自由に動けるのだが、意図的にメニューを決めなければ興味が湧かないため、パンフを充実してくれると良い。
- 身体が不自由の方が多くそれに合った観光マップの利用方法が知りたい。

大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供

- 障害の有無など、同じ立場の方達、また逆の立場の方達との交流。
- 案内人として、地元の老人ボランティア等のその土地の歴史を知る人の説明。
- 地元の人々の説明を聞きながら、名所旧跡等を廻りたい。
- 外から行った人が、パッと見ただけではわからない深みのある所を説明してくれて、それを体現している人、モノとの交流、出会い。
- 観光地のガイド等のサービスは必要を感じない。その地域の人々の生活ぶりが伝わるだけで楽しい。大阪はそのまま十分魅力的な異文化都市だから。

観光タクシー・送迎サービス

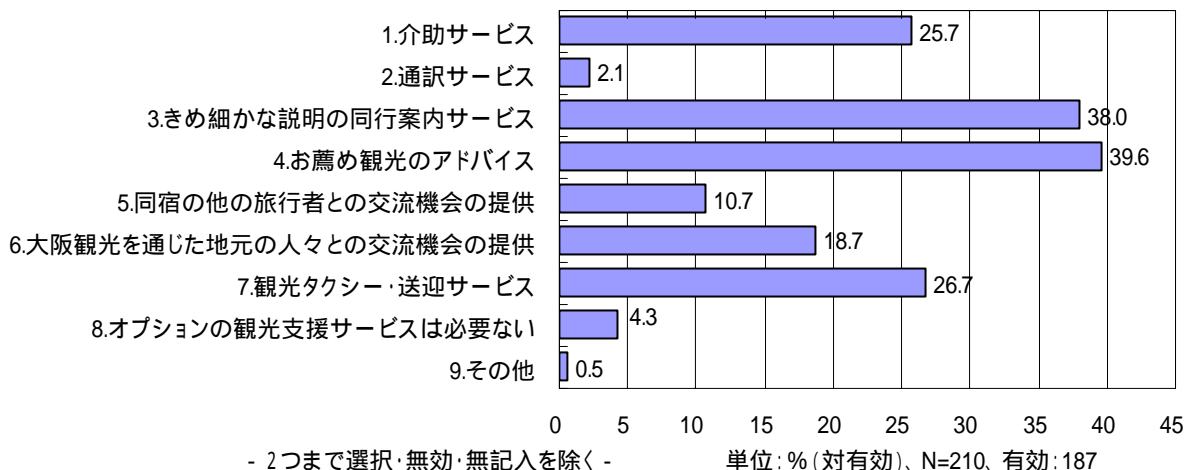
- 交通アクセスの提供(交通等が心配)。
- 交通費が大変高いので、それを補うものがあれば良い。
- 車イス利用者が多い。重度障害者が定員の1/3以上。そのため、足の確保が必要。

その他

- 授産施設であるので、就労への意識づけになるような観光。
- そこでしか体験できない事があるといい。

民家風宿泊施設で希望する観光支援サービス(オプション)

全国作業所・福祉施設等(メンバー)向けアンケート調査



全国作業所・福祉施設等のメンバーでは、上記で選択した希望する観光支援サービスについて、具体的な回答としては次のものが見られた。なお、以下回答には、ヒアリング調査での回答も含む。

介助サービス

- お年寄り、障害者に配慮したバリアフリー化を望む。

きめ細かな説明の同行案内サービス

- 各観光地ごとに目的にあったアドバイスが欲しい。
- 身近に居てすぐ相談に乗ってくれる人が欲しい。

お勧め観光アドバイス

- 地図とJR・地下鉄の交通手段と料金表が載ったものが欲しい。
- 最も安価な移動手段を教えて欲しい。

大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供

- 大阪の独特の関西弁が聞きたい。地元のことを堪能したい。

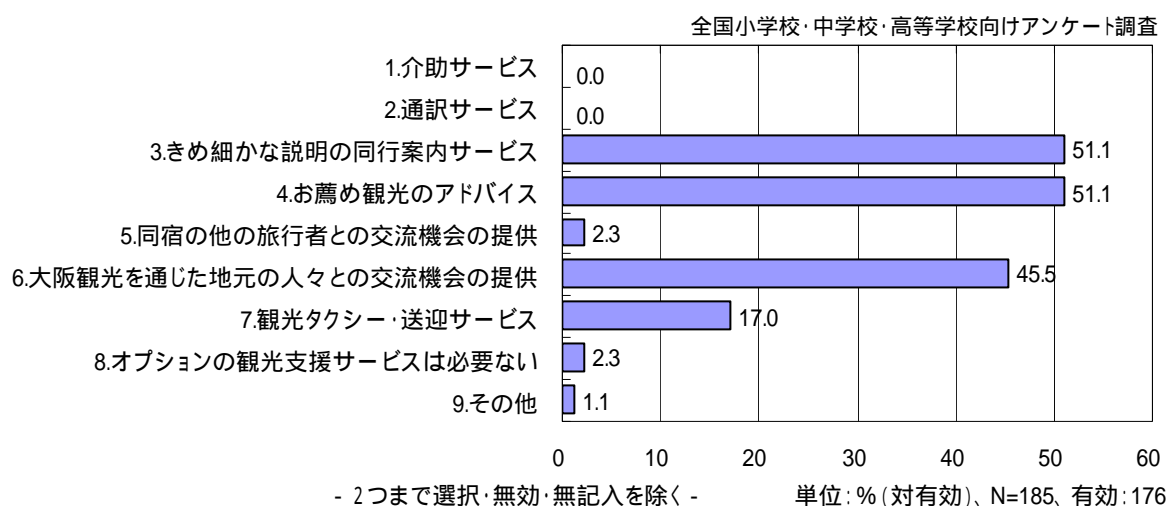
観光タクシー・送迎サービス

- 車イスの人でも一緒に観光できるように、福祉バスのような貸切バス又はジャンボタクシーが安い値段で使えるとよい。
- 車椅子でも気軽に観光できるように整備を希望。
- 車イスの方のトイレ案内や乗り物に対する介助サービス。
- バスガイドが欲しい。カラオケ(バス内でも)が、あれば良い。

その他

- 障害者も宿泊できるバリアフリーの民家にすると昔懐かしの民家でなくなるか。

民家風宿泊施設で希望する観光支援サービス(オプション)



全国小中学校・高校では、「その他」の回答として「安全性をたかめるためのサービス」、「日中、多くの観光地を団体で移動するので疲れている、ゆっくり休ませたい」があった。

上記で選択した希望する観光支援サービスについて、具体的な回答としては次のものが見られた。なお、以下回答には、ヒアリング調査での回答も含む。

きめ細かな説明の同行案内サービス

- 限られた時間の中で効率的な説明ができ、質問等に応えられるガイド。
- グループで行動する場合の力強いサポート。
- 少人数でもガイドがあればありがたい。
- 生徒たちに考える余地を残した説明をしてもらえるとありがたい。
- ボランティアによる案内等。
- 町の歴史などについての説明。
- よく大阪を知るための上方文化の案内。

お勧め観光アドバイス

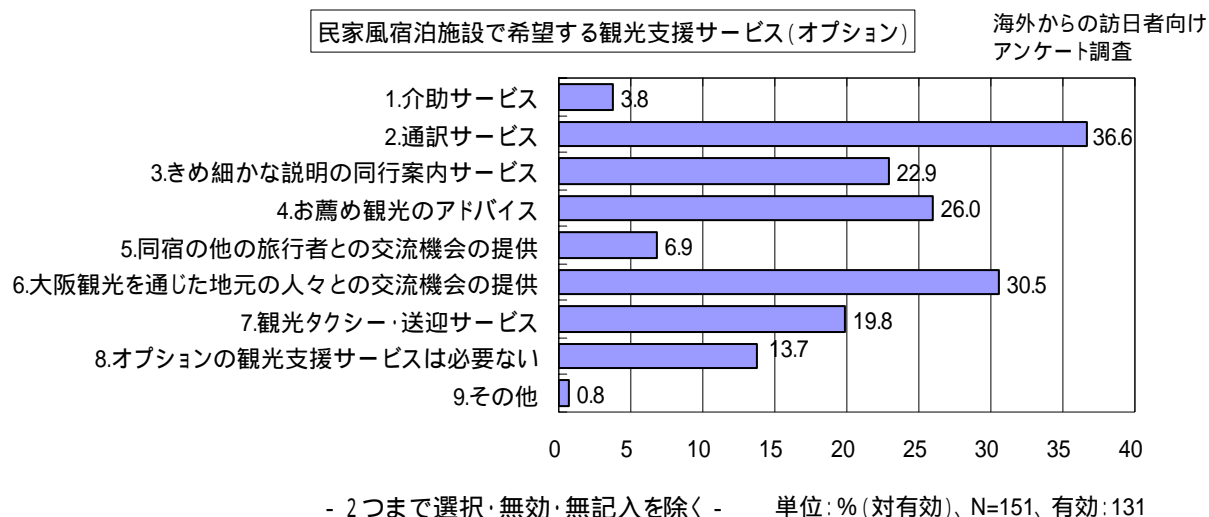
- 2泊3日の中では要点的にポイントを絞った旅行を考えなければならないため、時間的無駄のない案内。

大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供

- 大阪といえば活気ある商店街と町工場を中心とした工業都市。それを学習できる体験の場の提供。
- 作業所の見学。
- 小さな活気ある工場の見学。
- 地元の人とのふれあいができるという点が重要。そこに住む人々の姿があってはじめて民家に泊まる意味が出てくる。
- 大阪の小学生が、大阪の名所を案内したり、大阪自慢をきかせてくれたりすると相手にとってとても勉強になる。

観光タクシー・送迎サービス

- すくない時間を節約するためのタクシー利用。



海外訪日者では、上記で選択した望まれる観光支援サービスについて、具体的な回答としては次のものが見られた。

通訳サービス

- 英語通訳がいれば宿泊や観光がスムーズにそして便利にできるだろう。
- 多くの人が行くところでは、英語表記をすべての場所に。
- バイリンガル地図(外国語表記つき地図)が重要。
- 日本語会話を教えてほしい。
- 最低限の日本語。簡単な日本語を訳するためのフレーズブック。
- 英語表記のある美術館・博物館。
- A地点からB地点に移動することが時おり難しい。通訳がいればとても助けになるだろうし、またガイドブックやガイドサービスが通訳に代わって役に立つだろう。

きめ細かな説明の同行案内サービス

- 観光地についての知識がないので、目的地までのわかりやすい案内があるといい。
- 詳しい歴史的背景についてとても知りたい。

大阪観光を通じた地元の人々との交流機会の提供

- 街の真の雰囲気味わうには地元の人と交流する必要があると感じる。
- 普通の人々と触れ合いたい。
- 私の日本語はレベルが低いですが、日本の文化について知りたいし、地元の人々と交流したい。
- ホームステイプログラム、地元の料理を作る体験を楽しめるもの。
- 地元地域や文化について理解するために地元の人々との交流の機会があるといい。

観光タクシー・送迎サービス

- 地域について知識がないので観光タクシーのようなものが必要。
- 交通費が東京に比べて大阪はとても高い。市内限定乗り放題チケットなど必要。
- 格安チケット

その他

- 全ての動物性食品(製品)が使われていない食品(完全に野菜のみの食事)。
- イスラムの食べ物とそうでないものを混ぜないでください。(宗教上の理由だと思われる。イスラム教は豚と飲酒が禁止されているので、そのあたりを厳守できる食べ物が必要)
- ジム、ビリヤード、インターネットサービス。
- 川もしくは海でのボートまたは船。
- 安い民宿。